

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

※
※
※
※
※

２０１４年度事業報告書

※
※
※
※
※

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

公益財団法人 武田科学振興財団

2014 年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は、2010 年度創設のビジョナリーリサーチ継続助成については、2 回目の継続（ステップと称する。）も 1 回目の継続（ホップと称する。）と同様、応募の機会を拡大し、さらに充実を図った。また、医学系研究奨励は、生活習慣病を廃止し、癌領域を新設した。

新たに、医学部博士課程の継続奨学助成者の中から研究優秀者に対し、追加の奨学助成を行った。

(1) 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

- ① 武田報彰医学研究助成は、理事、評議員、名誉顧問、武田医学賞選考委員、武田医学賞受賞者、日本学士院会員〔第 7 分科〕、日本学士院賞受賞者〔1999 年以降医学関連〕の 85 名から推薦された、研究室立上げ 3 年未満の医学系研究者を対象に、選考委員会で決定し、1 件 3,000 万円 7 件 計 2 億 1,000 万円を贈呈した。
- ② 生命科学研究助成は、生命科学分野の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 1,000 万円 21 件 計 2 億 1,000 万円を贈呈した。
- ③ ライフサイエンス研究奨励は、医学・歯学・薬学系研究機関以外の生命科学研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円 30 件 計 6,000 万円を贈呈した。
- ④ 医学系研究奨励は、医学系の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円（癌領域、精神・神経・脳領域、感染症、基礎、臨床；各採択率は一律とする。）計 204 件 計 4 億 800 万円を贈呈した。
- ⑤ 薬学系研究奨励は、薬学系の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円 43 件 計 8,600 万円を贈呈した。
- ⑥ 特定研究助成は、研究機関を対象として、我が国の医学の発展に寄与する研究を対象に公募を行ない、選考委員会で決定し、1 件 2,600～5,000 万円 10 件 計 4 億円を贈呈した。
- ⑦ ビジョナリーリサーチ助成〔スタート〕は、医学分野の進歩・発展に貢献する将

来に向けて夢のある、成功すれば卓越した成果が期待できる研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 200 万円 28 件 計 5,600 万円を贈呈した。

本年度継続助成〔ホップ〕は、(i)2011 年度および 2012 年度〔スタート〕被助成者、(ii)2011 年度〔スタート〕被助成者で 2013 年度〔ホップ〕非採択者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 500 万円 10 件 計 5,000 万円を贈呈した。

本年度継続助成〔ステップ〕は、2012 年度〔ホップ〕被助成者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 1,000 万円 1 件 計 1,000 万円を贈呈した。

- ⑧ 高等学校理科教育振興奨励は、全国の高等学校およびそれに準ずる教育機関に所属する教員および職員を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 30 万円 40 件 計 1,200 万円を贈呈した。
- ⑨ 中学校理科教育振興奨励は、全国の中学校およびそれに準ずる教育機関に所属する教員および職員を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 30 万円 30 件 計 900 万円を贈呈した。
- ⑩ 杏雨書屋研究奨励は、杏雨書屋所蔵資料に関連する研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 50～95 万円 7 件 計 500 万円を贈呈した。

以上、研究助成の贈呈金総額は 15 億 1,600 万円（対前年度実績比 440 万円減）となった。

(2) 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

① 外国人留学研究者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究する外国人留学研究者に対する留学助成を行った。

本年度は、7 指定国より 51 名、その他の国より 5 名、計 56 名の留学者が来日し、留学助成金として総額 8,769 万円を支給した。

なお、1964 年に本事業を開始して以来、2015 年 3 月末までに留学助成した外国人留学研究者の総数は 38 カ国から 1,454 名である。

本年度に留学助成を行った来日留学研究者数は、次の通りである。

〈2015 年 3 月 31 日現在(来日ベース)〉

国 別	2014 年 度計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	5	0	1	6	6 名承認。6 名来日。
タ イ	6	6	0	1	7	7 名承認。7 名来日。
フィリピン	8	8	0	0	8	8 名承認。8 名来日。
韓 国	5	4	0	1	5	6 名承認。5 名来日。
中 国	10	9	0	1	10	11 名承認。10 名来日。
インドネシア	8	8	0	0	8	8 名承認。8 名来日。
ベトナム	6	7	0	0	7	7 名承認。7 名来日。 前年度繰越 1 名は年度内 来日出来ず。
7 カ国 小計	49	47	0	4	51	
上記 7 カ国以 外	5	5	0	0	5	6 名承認。3 名来日。2 名 は申請時から既に在日。 1 名は取り消し。
総 計	54	52	0	4	56	

また、本年度は、台湾およびタイの留学助成事業が 50 周年に当たり、次の通り記
年事業を行った。

タイ 50 周年記念事業：9 月 12 日 バンコクにて開催

台湾 50 周年記念事業：9 月 20 日 台北、21 日 高雄にて各々開催

② 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で国内の指定 7 大学(東京大
学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、北海道大学、東北大学、九州大学)の医学
(系) 研究科博士課程基礎医学系への入学者に対し、奨学金(年間 360 万円 各大
学から 2 名 計 14 名) の支給を実施した。

本年度は、2012 年度、2013 年度の奨学助成者 21 名と合わせて計 35 名に、総額
1 億 2,600 万円を奨学助成したが、2014 年度奨学助成者の 1 名が 11 月末で中断し
たことから、残余期間に相当する 120 万円の返金を受けた。また、2012 年度助成
者で継続奨学助成の推薦を受けた者(7 名)の中から、審査の上、研究優秀者に対
して 1 件 50 万円 2 件 計 100 万円を追加奨学助成した。

以上から、医学部博士課程の奨学金総額は、1 億 2,580 万円となった。

なお、5 月 15 日（木）に第 3 回医学部博士課程奨学助成認定式を実施した。

(3) 科学技術に関する注目すべき研究業績に対する褒賞（武田医学賞）

7 月 22 日（火）に開催した選考委員会において、10 件 10 名の候補につき 8 名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、医学界において顕著な業績を上げられた 3 名（下記参照）の褒賞を決定した。

受賞者には、11 月 12 日（水）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状と賞牌と盾）および副賞（1 件 1,500 万円）をそれぞれ贈呈した。

高井 義美 博士

現 職：神戸大学 特任教授

対象研究課題：細胞間接着の機能と制御機構

長澤 丘司 博士

現 職：京都大学 教授

対象研究課題：造血幹細胞と血液・免疫細胞の産生を調節する微小環境
（ニッチ）の解明

濡木 理 博士

現 職：東京大学 教授

対象研究課題：細胞膜を介した物質輸送の分子機構の研究

(4) 科学技術に関する時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

① 第 18 回 武田科学振興財団生命科学シンポジウム The 18th Takeda

Science Foundation Symposium on Bioscience を開催した。

テ ー マ：「iPS による再生医療」

“iPS Cells for Regenerative Medicine”

組織委員長：山中 伸弥 博士（京都大学 iPS 細胞研究所 所長・教授）

組織委員：岡野 栄之 博士（慶應大学医学部生理学教室 教授）

高橋 淳 博士（京都大学 iPS 細胞研究所 教授）

高橋 政代 博士（理化学研究所発生・再生科学総合研究センター
網膜再生医療研究開発プロジェクト

プロジェクトリーダー)

講演 : 26 名 (国内 13 名、国外 13 名)

ポスター発表 (106 件)

会 期 : 2015 年 1 月 15 日 (木) ~17 日 (土)

場 所 : 武田薬品工業株式会社研修所 (大阪府吹田市)

参加者 : 692 名

シンポジウムポスター褒賞金は、ポスター発表者を対象に、組織委員
他で構成する選考委員会で決定し、1 件 50 万円 7 件 計 350 万円を
贈呈した。(褒賞)

(5) 科学技術の振興に関する出版物の発刊 (本草医書発刊)

6 月、杏雨書屋機関誌「杏雨」17 号を発刊した。

また、1 月、「本草品彙精要 解説・目録・索引」150 部を発刊した。

(6) 東洋医書その他図書資料の保管、整理、収集および公開 (本草医書公開)

① 保管・整理

複写 73,626 枚、複写製本 516 冊、補修 125 冊を行った。

② 公 開

閲覧者は 249 名 (閲覧図書 1,849 部、5,979 冊)、複写依頼は 66 名 (複写部数 156
部、5,351 枚)、展示室見学者は 5,624 名 (特別展示会を含む。)であった。

<常設展示会>

(i) 4 月 1 日 (火) ~4 月 19 日 (土) の間、「神農企画展示」をテーマに開催し
た。(見学者 405 名)

(ii) 5 月 7 日 (水) ~3 月 31 日 (火) の間、「医学・薬学にまつわる素材と道具
類」

をテーマに開催した。(見学者 5,219 名)

<特別展示会>

(i) 春季: 4 月 14 日 (月) ~19 日 (土) に「杏雨書屋の稀観本」をテーマに開催
した。(見学者 329 名)

(ii) 秋季: 11 月 10 日 (月) ~15 日 (土) (見学者 162 名)、神農祭 11 月 22 日 (土)
~23 日 (日) (見学者 3,577 名) に「植物図譜にみる生薬の花」をテーマに
開催した。

③ 研究講演会

(i) 第31回研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2014年4月19日(土) 13:00～15:00

場 所：リーガロイヤルNCB 2階 淀の間

演 題：杏雨書屋のコレクション

演者：小曾戸 洋氏(日本医史学会 理事長)

演 題：杏雨書屋の仏教関係資料

演者：兼子 恵順氏(四天王寺大学 人文社会学部 教授)

演 題：恭仁山荘善本と佐伯定胤

演者：東野 治之氏(奈良大学 文学部 教授)

演 題：本草学と生薬学

演者：本多 義昭氏(姫路獨協大学 学長)

参加者：115名

(ii) 第32回研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2014年11月15日(土) 13:00～15:00

場 所：リーガロイヤルNCB 2階 淀の間

演 題：シーボルトコレクションにみる標本と図譜 - 文化・文政期の日蘭
交流 -

演者：加藤 僖重氏(獨協大学 国際教養学部言語文化学科 名誉教授)

演 題：高齢者の健康と漢方

演者：花輪 壽彦氏(北里大学 東洋医学総合研究所 所長)

参加者：109名

④ 稀覯本購入

レメリン「小宇宙図譜」ラテン語&オランダ語の第3版、1667年 1点

刈谷藩士本草学者宍戸昌 自筆文書 12点

伊藤(圭介・延吉・篤太郎)家伝来文書 9点

射駒山観花書画 1点

蘭畹摘芳草稿 1点

大阪華岡塾合水堂文庫 12点

本間玄調肖像 1点

以 上

別表（1）2014 年度研究助成金贈呈者明細

別表（2）2014 年度来日外国人留学研究者（国別人数）

別表（3）2014 年度外国人留学研究者明細

別表（4）国別外国人留学研究者数累計

別表（5）医学部博士課程奨学助成者明細

別表（6）第 18 回武田科学振興財団生命科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者明細

2014年度研究助成金贈呈者明細

武田報彰医学研究助成			
氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
小松 雅明	新潟大学	教授	選択的オートファジーの破綻によるがん、代謝性疾患発症機構の解明
立花 誠	徳島大学	教授	ほ乳類の性分化エピゲノムの解明
泊 幸秀	東京大学	教授	小分子RNAの動作原理の解明
長谷 耕二	慶應義塾大学	教授	経粘膜感染と宿主応答に果たすM細胞の役割の解明
村上 正晃	北海道大学	教授	神経系-血管系を介する免疫・炎症反応の時空間的制御
柳田 素子	京都大学	教授	細胞系譜追跡とエネルギー代謝時空間ダイナミクスからみた腎内在性再生力の検証
山本 雅裕	大阪大学	教授	トキソプラズマ原虫と宿主自然免疫系の相互作用解析
			計7件
生命科学研究助成			
氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
稲田 利文	東北大学	教授	翻訳伸長段階での品質管理機構におけるリボソーム修飾の機能解明
稲葉 謙次	東北大学	教授	小胞体に張り巡らされたジスルフィド結合形成ネットワークの新規機能と分子構造基盤
大岩 和弘	情報通信研究機構未来ICT研究所	主管研究員	真核生物の鞭毛波形成に関わる軸糸ダイニンの協働性創出機構の解明
糸 和彦	名古屋市立大学	教授	ショウジョウバエを用いた概日周期と睡眠制御機構の解析
五島 剛太	名古屋大学	教授	脳疾患原因遺伝子による細胞分裂制御機構の解明
匂坂 敏朗	神戸大学	教授	膜タンパク質挿入システムの全様式の解明
地主 将久	北海道大学	准教授	発がん自然史の方向性を決定する癌-免疫クロストークの分子基盤の解明
新藤 隆行	信州大学	教授	臓器間連携と恒常性を司る生体内情報制御系の解明と応用展開
新村 健	慶應義塾大学	専任講師	PD-1陽性記憶型T細胞を標的とした糖尿病合併循環器疾患治療戦略の確立
田中 克典	関西学院大学	教授	染色体末端テロメア長制御機構の解明
西中村 隆一	熊本大学	教授	試験管内腎臓誘導法を用いた病態解明と機能賦与への挑戦
西村 智	自治医科大学	教授	生体恒常性とゆらぎの可視化デバイスの開発と病態への応用
廣瀬 哲郎	北海道大学	教授	非コードRNAによるタンパク質凝集体形成制御機構の解明
広常 真治	大阪市立大学	教授	アルファシヌクレインの機能解析を通じたパーキンソン病発症のメカニズム解明
星野 幹雄	国立精神・神経医療研究センター	部長	AUTS2遺伝子の機能解析による自閉症と限局性皮質異形成症の病態解明
松尾 勲	大阪府立母子保健総合医療センター	部長(総括研究員)	ほ乳動物の胚発生・器官形成過程における力学的要因の解明
松田 正	北海道大学	教授	炎症・免疫調節分子STAP-2を標的とした新規治療戦略の確立
松本 正幸	筑波大学	教授	サル脳への神経路選択的遺伝子導入を用いた前頭前野局在性ドーパミン入力 of 解析
村松 正道	金沢大学	教授	遺伝子改変酵素素群APOBECの発癌ウィルス感染における役割
柳 茂	東京薬科大学	教授	ミトコンドリア-小胞体接触場の形成機構と破綻による病態解明
山崎 晶	九州大学	教授	結核菌受容体遺伝子クラスターの発見と宿主の免疫賦活に向けた新戦略
			計21件
ライフサイエンス研究奨励			
氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
明石 真	山口大学	教授	食による概日時計調節における細胞外および細胞内シグナル経路の解析
井田 隆徳	富崎大学	特任助教	新規生理活性ペプチドの発見と応用-ヘテロダイマー受容体を利用して-
伊藤 浩史	九州大学	助教	概日リズム共鳴現象の観察と制御
上原 亮太	北海道大学	特任助教(PI職)	未知の染色体保留因子による新奇分裂制御機構の探索
上村 想太郎	理化学研究所	チームリーダー	超微量核酸定量シーケンズ技術の開発

岡田 徹也	京都大学	助教	小胞体関連分解における異常タンパク質の修復と分解の分岐点
鎌形 清人	東北大学	助教	単分子蛍光計測によるがん抑制蛋白質p53のターゲット配列探索機構の解明
河野 洋治	奈良先端科学技術大学院大学	助教	ペア抵抗性遺伝子による植物免疫の誘導機構の解明
河原崎 泰昌	静岡県立大学	准教授	新しい出芽酵母発現系の分子生物学的解析・改良による「難生産性蛋白質」生産系の確立
小谷 友也	北海道大学	准教授	半数体の卵形成における翻訳機構の役割と実態の解明
西條 雄介	奈良先端科学技術大学院大学	准教授	植物の自然免疫記憶に基づく生育調和型生体防御システムの解析
佐伯 泰	東京都医学総合研究所	副参事 研究員	ユビキチンネットワークの全容解明
佐藤 健	東京大学	准教授	細胞内小胞輸送を制御する分子基盤の解明
杉本(永池)崇	産業技術総合研究所	研究員	ポリADPリボシル化による癌抑制型マイクロRNAの代謝制御機構
惣谷 和広	理化学研究所	スタッフ研究員	脳可塑性における抑制回路と覚醒機構の役割
竹々原 宜子	大阪大学	特任准教授	多核化を制御する細胞融合コンピテント細胞の同定
田中 元雅	理化学研究所	チームリーダー	シナプス局在RNA顆粒の異常に着目した神経疾患の病態解明
田村 康	名古屋大学	准教授	試験管内リン脂質輸送解析系を利用した新規リン脂質輸送タンパクの探索
寺脇 慎一	群馬大学	助教	癌細胞の浸潤促進因子Tiam1/2の活性化機構の解明
朽尾 豪人	京都大学	准教授	インターロイキン-1ファミリーにおける前駆体成熟機構の構造生物学的解明
野尻 正樹	大阪大学	講師	シトクロムP450の電子獲得機構全貌解明へ向けた構造基盤研究
長谷川 光一	京都大学	特定拠点講師	膵腺癌の診断と標的医療に向けた新規バイオマーカーの探索
馬場 健史	大阪大学	准教授	超臨界流体抽出分離技術を用いた酸化脂質メタボロミクスによる炎症性脂質メディエーターの解析
福島 和樹	山形大学	助教	広い抗菌スペクトルと高い血液適合性を有する生分解性ポリマー-抗菌薬剤の開発
藤島 和人	京都大学	特定拠点助教	組織における三次元的な神経突起形成のダイナミクスと分子メカニズムの解析
舟本 聡	同志社大学	准教授	基質特異的末梢Aβ産生抑制による脳内Aβ蓄積抑制法の開発
邊見 久	名古屋大学	准教授	古細菌膜脂質生合成における未知の炭素-炭素結合形成反応の解明
三柴 啓一郎	大阪府立大学	准教授	高等植物におけるRIDDの生理的意義の解明
森本 充	理化学研究所	チームリーダー	大型器官の3次元成長戦略の解析
山根 ゆか子	大阪大学	特任講師	自然視中の物体認識にかかる神経機構

計30件

医学系研究奨励

《 寄 附 域 》

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
栗井 博丈	熊本大学	助教	老齢個体のT細胞増殖不全と、それによるがん免疫療法効果低下におけるHippo経路の関与
飯岡 英和	愛知医科大学	助教	細胞極性制御因子Crb3が腫瘍の管腔形成と細胞移動を制御するメカニズムの解析
飯笹 久	北海道大学	助教	ゲノム編集法を応用した肺小細胞がん標的薬の開発
井上 朋子	九州大学	講師	骨髄異形成症候群(MDS)に対する新規創薬ターゲットの同定
岩本 高行	岡山大学	客員研究員	閉経前乳がんに対する術前短期タモキシフェン投与後のIHC-KI67の意義:Window-of-opportunity trial designを用いて
植村 守	大阪大学	助教	癌幹細胞の恒常性維持と細胞内蛋白分解機構
榎本 将人	京都大学	特定助教	遺伝的不均質による腫瘍悪性化の分子基盤
大畑 広和	国立がん研究センター研究所	研究員	活性酸素種(ROS)によるがん幹細胞性維持機構の解析
岡崎 泰昌	名古屋大学	講師	過剰鉄による酸化ストレスを介した発がん機構の解析
荻原 秀明	国立がん研究センター研究所	研究員	エピジェネティック関連遺伝子の高頻度変異がんに対する合成致死治療法の開発
柏木 伸一郎	大阪市立大学	病院講師	トリプルネガティブ乳癌におけるE-cadherin発現の分子機構の解明および臨床的検証
梶原 健太郎	大阪大学	特任研究員	細胞がん化における細胞膜チロシンキナーゼ捕捉機構の寄与
加藤 護	国立がん研究センター研究所	部門長	がん臨床応用へ向けた次世代シーケンサーのバイオインフォマティクス解析手法の確立
亀崎 健次郎	九州大学	助教	ミトコンドリア代謝を介した白血病幹細胞制御機構の解明と標的治療の探索

香崎 正由	産業医科大学	助教	脊椎動物での新規複製終了チェックポイント機構の解明とがん化における関与の研究
小林 英介	国立がん研究センター研究所	医員	メタボリックエラーを標的とした軟部肉腫における新規治療開発
小見山 博光	順天堂大学	講師	新開発CTC-chipによる大腸がん血中循環癌細胞(CTC)の同定とマーカーとしての臨床応用
菰原 義弘	熊本大学	講師	ミエロイド細胞が関与する癌幹細胞ニッチを標的とした治療法の開発
坂田(柳元) 麻実子	筑波大学	准教授	TET2-RHOAシグナルクロストークによるT細胞リンパ腫の発症メカニズムの解明
佐藤 賢文	熊本大学	准教授	HTLV-1を起点とした成人T細胞白血病発症メカニズム解明と早期診断法の確立
實松 史幸	九州大学	助教	がん細胞の浸潤・転移におけるDOCK1・ELMO・Racシグナル複合体の役割とその制御機構
篠原 憲一	千葉県がんセンター	嘱託職員・客員研究員	小分子を用いた選択的ヒストン修飾変更改法の開発
前佛 均	札幌医科大学	特任講師	体系的遺伝子発現および多型情報の統合解析により同定されたGALNT7を標的とした新規乳がん治療薬の開発
高山 賢一	東京大学	助教	アンドロゲン応答性マイクロRNAの前立腺癌におけるエピゲノム制御メカニズムの解明とその臨床応用
武田 真幸	近畿大学	講師	ドライバー遺伝子変異陽性肺癌に於ける新たな効果予測因子の同定と新規治療法の開発
田中 伸之	慶應義塾大学	非常勤講師	上皮間葉転換(EMT)を引き起こす癌ユビキチンシステムの解明
田中 雄悟	神戸大学	助教	iPS技術を用いた肺癌幹細胞に関する研究
種子島 幸祐	東京都医学総合研究所	主任研究員	CXCL14によるCXCR4陽性癌に対する抗癌活性
辻川 哲也	福井大学	准教授	エストロゲン依存性婦人科腫瘍の最新PET分子イメージングとテクスチャ解析
土屋 淳紀	新潟大学	医員	肝幹前駆細胞マーカー陽性肝細胞癌の生物学的悪性度を規定する因子の解明
常松 貴明	徳島大学	特別研究員	DNA複製開始を制御するDNAライセンス化因子のCdt1の分解機構の解明と癌治療戦略
問山 裕二	三重大学	助教	大腸癌発癌pathwayから検証した大腸癌前癌病変の 非侵襲的血清診断法の確立
中山 恒	東京医科歯科大学	准教授	低酸素性がんのATP効率利用戦略―選択的転写機構の解明
難波 卓司	高知大学	テニユアトラック特任助教	オートファジーとアポトーシスを制御する新たな癌抑制遺伝子の発見と新規抗癌ターゲットの探索
南部 晶子	熊本大学	博士研究員	悪性脳腫瘍幹細胞の分化ニッチ制御に関わる機能糖鎖分子の探索
橋本 大輔	熊本大学	診療講師	肺癌におけるglucose transporter 1: Glut1の機能解析と新しいバイオマーカーとしての検討
長谷川 巧実	神戸大学	特定助教	癌幹細胞に注目した局所的炭酸ガス投与による新規口腔癌治療法の開発 ～再生医療に伴う「癌化」リスクの軽減の可能性～
平山 亮一	放射線医学総合研究所	研究員	炭素線照射後における再酸素化と腫瘍内微小環境変化に関する基礎研究
船戸 洋佑	大阪大学	助教	マグネシウムによるがん細胞の悪性化とエネルギー代謝
増淵 悟	愛知医科大学	教授	時間治療を目指した癌組織低酸素領域の概日時計振動の解明
松崎 潤太郎	慶應義塾大学	助教	血中循環型マイクロRNA-221/222の新規腫瘍マーカーとしての有用性
宮垣 朝光	東京大学	助教	皮膚悪性リンパ腫におけるIL-10産生制御性B細胞の関与の検討
村上(渡並) 佳	愛知県がんセンター研究所	主任研究員	BAP1変異がんにおけるオートファジーの役割の解析
山川 大史	大阪大学	特任助教	細胞外Tie1による腫瘍血管新生の制御機構の解明
山崎 誠	大阪大学	助教	癌化学療法における遺伝子変異誘導と獲得耐性メカニズム解明
山本 浩平	東京医科歯科大学	助教	腫瘍組織環境に起因する異常シグナルの是正による新規抗腫瘍モデルの開発に向けた基礎的研究
			46件
《精神・神経・脳領域》			
飯島 浩一	国立長寿医療研究センター	室長	統合生物学的アプローチによるアルツハイマー病新規治療薬ターゲットの同定
飯島 崇利	東海大学	准教授	神経系における生命情報の多様性の制御メカニズムと機能の解明

稲垣 彰	名古屋市立大学	助教	CaV2.1の薬理学的制御を目指した新規化合物の探索とその機構の解析
衣斐 督和	京都府立医科大学	講師(学内)	活性酸素種を介した記憶制御機構の時空間的解析
岩波 純	愛媛大学	助教	脳内AT ₂ 受容体刺激およびHDAC2調節による認知機能への影響の検討
内田 周作	山口大学	講師	うつ病の発症機序におけるマイクロRNAの役割に関する研究
大村 優	北海道大学	助教	光遺伝学による選択的セロトニン神経活動抑制が衝動的行動に与える影響とそのメカニズムの解明
岡田 洋平	愛知医科大学	准教授	分化に伴うゲノム不安定化を指標としたヒトiPS細胞の新しい品質評価法の開発
川口 奉洋	東北大学	助教	パルスジェットを用いた脳深部病変への新規ドラッグデリバリー法の開発
木村 暁夫	岐阜大学	准教授	ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた傍腫瘍性神経症候群の新規診断マーカーの開発
切原 賢治	東京大学	助教	統合失調症におけるペタインおよびホモシステイン代謝経路の解析
金 明月	大阪市立大学	特任助教	Katanin P80の変異に伴う滑脳症・小脳症発症の分子機構の解明
桑子 賢一郎	慶應義塾大学	特任講師	シナプス結合の特異性を決定する分子機構の解析
小林 克典	日本医科大学	准教授	脳神経細胞の経験依存的な成熟調節機構を利用した抗うつ効果の解析
小村 豊	産業技術総合研究所	主任研究員	メタ認知の神経機構とその病態メカニズムの解明
近藤 誠	大阪大学	助教	環境や経験に依存して記憶が可塑的に変化する分子メカニズムの解明
佐々木 勉	大阪大学	助教	神経疾患におけるHDAC制御機構解明に基づいた創薬、遺伝子治療の開発
實木 亨	横浜国立大学	助教	AMPA受容体シナプス移行におけるNogo受容体シグナルの役割
地村 弘二	東京工業大学	特任准教授	ヒト神経大域ネットワークの情報伝達機構
下島 圭子	東京女子医科大学	特任助教	Down症候群における精神発達遅滞の発症機序解明と重症度を左右する因子の同定
鈴木 誠	北里大学	教授	最適報酬確率に基づく新しい運動機能回復戦略
須田 史朗	自治医科大学	講師	胎生期低栄養暴露によって生じる精神疾患発症脆弱性の分子機構の解明
高田 則雄	慶應義塾大学	特任講師	機能的MRI信号の代謝的基盤の解明
高鶴 裕介	群馬大学	助教	脳梗塞後の健常半球神経回路再編成におけるアストロサイトの役割の解明
高橋 祐二	国立精神・神経医療研究センター病院	第二神経内科医長	NRG-ErbB4パスウェイの機能障害によるALS病態機序の解明
滝沢 琢己	群馬大学	准教授	成熟ニューロンにおけるコアヒストンのダイナミズム解析
竹本 誠	熊本大学	助教	心血管機能の調節に関わる聴覚皮質神経回路の解明
橋谷 智子	京都大学	特定助教	新しい蝸牛支持細胞標識マウスを用いた聴覚有毛細胞再生研究
田中 大介	東京医科歯科大学	助教	快・不快の経験の、高次情報処理を担う神経系に対する作用機序の解明
磯波 一夫	慶應義塾大学	特任助教	受容体分子UNC5Dによる発生期大脳皮質における移動神経細胞の制御機構の解析
富田 江一	高知大学	助教	視覚認知に重要な機能ユニットの「初期形成メカニズム」と「成熟メカニズム」の全貌解明を目指す研究
鳥塚 通弘	奈良県立医科大学	助教	iPS細胞を用いた培養・移植実験系による一卵性双生児統合失調症不一致例解析
永岡 唯宏	新潟大学	研究員	N-cadherin/Vangl2複合体によるシナプス制御機構の解析
中嶋 藍	福井大学	学術研究員	嗅細胞における神経活動デコーディング機構の解明
夏目 敦至	名古屋大学	准教授	機能的ゲノム解析に基づく癌特異的エピゲノム調節異常を標的とした悪性脳腫瘍の治療開発
西田 淳志	東京都医学総合研究所	主席研究員	思春期大規模コホートによる精神病症状体験者自殺関連リスクの縦断的検討
沼川 忠広	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所	室長	ステロイドストレス負荷による発達障害モデル動物作出と統合失調症の脳内分子病態の解明
橋本 唯史	東京大学	特任講師	アルツハイマー脳Aβエコノミー制御機構の解明
橋本 亮太	大阪大学	准教授	ポリジェニック脳神経画像解析による統合失調症の病態解明研究
浜口 毅	金沢大学附属病院	助教	アミロイドβ株による脳病理の違いに関するヒト剖検脳を用いた研究
深田 優子	生理学研究所	准教授	てんかん病態の解明と新たな治療戦略の開発
藤谷 昌司	大阪大学	助教	BAC-Tg法を用いた16番染色体重複による発達障害モデル動物の確立
朴 盛弘	鳥取大学	プロジェクト研究員	精神疾患の臨床評価と脳機能の関連-主観的評価と客観的評価の比較検討
前島 裕子	自治医科大学	助教	光による摂食制御:神経回路の解明と生理的・病態的・治療的意義

森 秀一	東京都健康長寿医療センター研究所	研究員	筋・運動神経の相互作用の異常に基づく筋委縮性の病態解明と治療法の開発
山田 玲	名古屋大学	助教	樹状突起による周波数依存的な情報処理機構の解明
			46件
《基礎》			
青木 悠	群馬大学	助教	気管支喘息におけるプロトン感知性受容体OGR1のT細胞における役割
有木 茂	札幌医科大学	講師	抗菌ペプチドによる組織傷害をSP-Aが抑制する分子機構の解明
有馬 勇一郎	熊本大学	特任助教	低出生体重児の成人後循環器リスクを軽減するための基礎研究
安藤 智暁	理化学研究所	研究員	アトピー性皮膚炎の発症機序におけるケラチノサイトのSPS複合体の役割の解明
石井 清朗	金沢大学	特任准教授	糖尿病の際に肝臓から分泌されるサイトカインが骨粗鬆症に与える影響
石田 裕子	和歌山県立医科大学	講師	深部静脈血栓塞栓症におけるサイトカイン・ケモカインの分子病理学的役割解析
市川 優佳	信州大学	博士研究員	白色脂肪・褐色脂肪の機能連携の解明と、メタボリックシンドローム治療への応用展開
市村 敦彦	東北大学	助教	Plasminogen Activator Inhibitor (PAI)-1 阻害薬の肥満・糖尿病に対する分子薬理学研究
今城 健人	横浜国立大学	助教	非アルコール性脂肪肝炎の患者病態を反映した新規動物モデルの開発
岩森 巨樹	九州大学	助教	エピゲノムにより制御されるpre-mRNAスプライシング機構と雄性不妊症との関係性の解析
海川 正人	琉球大学	准教授	アンギオポエチン様蛋白質によるマクロファージ活性化機構の解析
海野 一雅	名古屋大学	病院助教	内因性心筋再生機構の解明を目指した基盤研究
大寺 秀典	九州大学	助教	Drp1膜受容体MffとMif51により作動する2つのミトコンドリア分裂機構と生理的意義
大洞 将嗣	九州大学	准教授	ヒストン脱メチル化による胸腺細胞の分化制御機構の解明
小笠原 諭	東北大学	助教	創薬ターゲットとなる膜蛋白質の構造・機能解析を目指した抗体作製技術基盤の開発
小川 寛恭	岐阜大学	特任助教	肥満(2型糖尿病)における変形性関節症発症機序の解明
沖 健司	広島大学病院	助教	新規アルドステロン合成機構を基盤にした原発性アルドステロン症の新たな診断と治療法の開発
奥西 勝秀	群馬大学	講師	Rab27エフェクター分子によるアレルギー反応の制御機構の解明
小田 賢幸	東京大学	助教	クライオ電子トモグラフィーによる繊毛運動制御機構の解明
小野 弥子	東京都医学総合研究所	主席研究員	新規タンパク質PLEIADとコネクチンによるカルパイン3制御機構の解析
小原 祐太郎	山形大学	准教授	ERK5を介したカテコラミン生合成機構の分子基盤とその生理的・病理的な役割の解明
加藤 希世子	大阪大学	特任研究員	DNA2本鎖切断修復経路選択を制御するクロマチンユビキチン化の調節機構の解明
菊田 順一	大阪大学	助教	生体二光子励起イメージングによる骨格系細胞ネットワークの動的解析
木村 彰宏	慶應義塾大学	助教	環境応答因子による制御性B細胞の分化制御機構および自己免疫疾患に対する作用機序の解明
木村 俊秀	大分大学	准教授	GDP型Gタンパク質を介した新しいインスリン分泌制御機構の解明
久場 敬司	秋田大学	准教授	新規Apelinペプチドネットワークによる心機能制御機構の解明
鯉沼 代造	東京大学	准教授	表皮角化細胞特異的新奇TGF-β 標的遺伝子による皮膚バリア機能制御機構
佐藤 真理	北海道大学	助教	成長板軟骨細胞による脂肪髄の制御機構を解明する
澤田 貴宏	和歌山県立医科大学	講師	GH-IGF1軸シグナル伝達系新規分子機構の解明
山条 秀樹	信州大学	助教	マクロファージによる組織恒常性維持機構を司るシグナルネットワークの解明
篠崎 陽一	山梨大学	講師	P2受容体シグナルを介した緑内障発症メカニズムに関する研究
柴 祐司	信州大学	講師	移植免疫寛容霊長類モデルにおけるiPS細胞を用いた心筋梗塞治療の開発
鈴木 淳	京都大学	助教	Xkr familyの機能解析
須田 恭之	筑波大学	助教	疾病の解明に向けたゴルジ体糖転移酵素の偏在メカニズムの解明
寿野 良二	京都大学	特定研究員	サブタイプ特異的な薬剤開発に向けたムスカリンM2受容体のX線結晶構造解析
蘇原 映誠	東京医科歯科大学	講師	塩分感受性高血圧新規原因遺伝子KLHL3/Cullin3によるWNKシグナル制御機構の解明
高江洲 義一	琉球大学	助教	泡沫細胞の細胞死制御機構の解明とそれを利用した動脈硬化の新規治療法開発
高木 秀明	宮崎大学	助教	自己免疫疾患における形質細胞様樹状細胞の役割の解明
高取 宏昌	千葉大学	助教	アレルギー性炎症における新規制御性自然免疫細胞の役割の解明

田中(大石)由美子	東京医科歯科大学	デニユアトラック准教授	生活習慣病の基礎となる免疫-代謝関連変調の分子機構の解明
田村 行識	近畿大学	助教	糖代謝異常と骨代謝異常の相互増幅機構における筋肉・骨の臓器連関の役割の解明
津元 国親	大阪大学	助教	In silico解析による致死性不整脈の発生機序の解明
富樫 英	神戸大学	助教	感覚器における秩序だった細胞パターンを制御する機構と機能的意味の解明
十島 純子	早稲田大学	講師	蛍光イメージングによるGタンパク質共役型受容体の細胞内輸送機構の解明
中山 勝文	東北大学	准教授	Trogocytosisによる癌免疫活性化機構
橋本 功	東北大学病院	助教	ヒト関節軟骨細胞におけるIL1B遺伝子発現に関わるDNAメチル化機構の解明
橋本 大吾	北海道大学病院	助教(デニユアトラック)	造血幹細胞移植後のT細胞による核酸感知機構の重要性の解明
蓮輪 英毅	慶応義塾大学	専任講師	機能性小分子RNAが制御する生殖機能の解明
波多 賢二	大阪大学	准教授	関節軟骨再生を目指したダイレクトリプログラミング法の開発
濱田 理人	筑波大学	助教	転写因子MatBによるC1q遺伝子群発現制御を介した自己免疫疾患発症抑制機構の解明
林 寿来	愛知医科大学	講師	血管新生におけるG蛋白活性調節因子の研究
林 幹人	東京医科歯科大学	助教	運動器-免疫間の連環 ～メカニカルストレスによる動的恒常性と破綻～
人見 祐基	東京大学	助教	オーダーメイド医療の実現へ向けた、疾患感受性遺伝子多型による発症メカニズムの解明
平原 潔	千葉大学	客員准教授	シグナル伝達物質間ダイナミクスの免疫恒常性維持における役割の解明
廣田 圭司	大阪大学	特任准教授	炎症性Tヘルパー細胞と自然リンパ球細胞(ILCs)の炎症局所におけるクロストーク
福田 大受	徳島大学	特任講師	血管周囲脂肪組織におけるNLRP3インフラマソームの活性化が動脈硬化病変形成に与える影響
福田 亨	東京医科歯科大学	助教	感覚神経による骨代謝調節機構の解明
藤原 祥高	大阪大学	助教	CRISPR/Casシステムを用いた生殖細胞特異的GPIアンカータンパク質の機能解析
船戸 道徳	長良医療センター	研究室長	急性膝炎の新規治療薬の探索に向けた試験管内疾患モデルの開発
曲 正樹	岡山大学	助教	濾胞樹状細胞による抗体の親和性成熟の制御メカニズムの解明
松坂 賢	筑波大学	准教授	脂肪酸伸長酵素ELOVL6による肝インスリン感受性調節機構
松下一史	兵庫医科大学	助教	気道組織への抗原曝露による抗原特異的IgE産生誘導機構の解明
宮本 達雄	広島大学	講師	ヒト培養細胞における簡便な一塩基編集技術の確立
本村 泰隆	理化学研究所	特別研究員	エピジェネティック制御による自然リンパ球:ナチュラルヘルパー細胞の機能変換機序の解明
谷田部 淳一	福島県立医科大学	助教	腎におけるGABA受容体刺激伝達機構とGABAによる腎保護効果の機序の解明
雷 小峰	昭和大学	助教	Hic-5を分子標的とする大動脈瘤疾患治療の基礎基盤の構築
渡邊 康春	富山大学	客員助教	モデル動物を用いた遊離脂肪酸誘発性の内臓脂肪組織炎症の解明

67件

《臨床》

浅田 礼光	太田記念病院	医師	臍帯血幹細胞と未熟児貧血におけるエリスロポエチンの生理学的挙動の解明
池田 真理子	神戸大学	特命講師	肺囊胞性疾患の体細胞モザイク型変異に着目した発症分子機構の解明
石井 誠	慶應義塾大学	専任講師	特異的転写因子発現による肺細胞への分化誘導法の確立
今釜 史郎	名古屋大学	講師	中高齢者の脊椎バランスと転倒に関する研究
内村 幸平	熊本大学	医員	プロスタシン発現調節メカニズムの解明による新規糖尿病治療開発の分子基盤
大石 明生	京都大学	助教	PD-L1/CD80経路の制御による脈絡膜新生血管の治療法開発
大野 聖子	滋賀医科大学	特任講師	カテコラミン感受性多型性心室頻拍のスクリーニング法および効率的な遺伝子解析法の確立
海江田 信二郎	久留米大学	助教	関節炎における新規サイトカインIL-38の役割
片上 直人	大阪大学	助教	「糖尿病大血管症を効率的に予防するための早期診断ツールとリスク層別化システムの開発」
加藤 仁志	金沢大学	助教	放射線抵抗性の転移性せきつい腫瘍に対する根治的手術が生命予後・機能予後に与える効果
兼子 裕規	名古屋大学	助教	Caveolin-1による増殖硝子体網膜症の発症メカニズムとmicroRNAによるその制御機構の解明
川崎 綾	筑波大学	特任助教	ANCA関連血管炎の人種差を説明しうる遺伝因子の解明
小島 祥敬	福島県立医科大学	教授	前立腺肥大症に対する個別化医療と創薬開発に向けた基礎的研究

堺 裕輔	長崎大学	助教	術後急性肝不全予防のための自己ヒト肝細胞移植技術の確立
下倉 良太	奈良県立医科大学	助教	新生児難聴早期発見のための軟骨伝導を用いたABR刺激呈示装置の研究
杉本 昌也	旭川医科大学	助教	FDG-PET/MRIを用いた先天性心疾患患者の右心機能評価法の開発
中村 隆宏	同志社大学	准教授	細胞系譜解析を用いた角膜上皮幹細胞の恒常性維持機構の解明
納谷 昌直	北海道大学病院	助教	冠動脈疾患患者における血行再建術の冠血流予備脳に対する効果の検討
乃村 俊史	北海道大学病院	助教	フィラグリン遺伝子変異を標的にしたアトピー性皮膚炎の新規治療法の開発
林 研至	金沢大学	助教	次世代シーケンサーを用いた遺伝性不整脈の遺伝子解析およびゼブラフィッシュを用いた不整脈重症度評価
前嶋 康浩	東京医科歯科大学	助教	高安動脈炎の疾患感受性遺伝子の同定と発症機序の探索
三浦 康生	京都大学	助教	間葉系幹細胞を標的とした造血細胞移植後合併症の病態解明と治療への応用
三吉 範克	大阪府立成人病センター	診療主任	脂肪組織由来幹細胞の臨床応用を目指した開発研究
八木 満	村山医療センター	医長	成人脊柱変形の脊椎アライメントの最適化のための統合的評価
矢野 俊之	札幌医科大学	助教	mTORシグナルを標的とした心不全治療の開発
山口 雅之	国立がん研究センター研究所	ユニット長	不妊症治療の成績向上に貢献する精細管MRIイメージングの開発
吉野 浩教	弘前大学	助教	放射線誘発炎症におけるセラミド代謝系の影響解明と炎症予防への応用
			27件
《感染症》			
有井 潤	東京大学	助教	HSVレセプターを標的とする感染阻害法の確立
内山 良介	兵庫医科大学	講師	Fasシグナルを介した新たな細菌感染防御機構の解明
蝦名 博貴	京都大学	助教	新規ゲノム編集エイズ治療戦略のHIV除去効果の検討
小田 康祐	広島大学	特任助教	ヒトパラインフルエンザウイルス感染症に対する新規治療薬の開発
川田 潤一	名古屋大学	助教	EBウイルス関連T/NKリンパ増殖性症に対する新規分子標的薬剤の効果
喜多村 晃一	金沢大学	助教	B型肝炎ウイルス持続感染におけるウイルス及びヒトゲノム改変機構の解析
滝沢 直己	微生物化学研究所	研究員	パンデミックインフルエンザウイルス発生の分子基盤の解明
中野 政之	長崎大学	助教	ピロリ菌が産生するVacAとCagAの宿主細胞における新たな相互作用の解析
中山 絵里	国立感染症研究所	研究員	チクングニアウイルス感染による関節炎発症へのC型レクチンの関与
半田 浩	国立国際医療研究センター研究所	上級研究員	新規抗菌薬開発に向けた感染共通因子の探索
松宮 朋穂	弘前大学	助教	生殖器特異的に発現する新規インターフェロンの分子基盤解明
丸山 史人	東京医科歯科大学	准教授	常在性細菌による劇症型感染症の発症機構の解明と発症リスク評価法の開発
三木 剛志	北里大学	講師	抗菌レクチンによる腸管粘膜免疫制御機構の解明
森川 一也	筑波大学	准教授	ブドウ球菌に自然形質転換を誘導させない抗生物質の選択方法
森永 芳智	長崎大学	助教	DAMPsによる敗血症の病態解明と新規診断への展開
山口 雅也	大阪大学	助教	炎症応答における細菌の糖鎖分子擬態と糖鎖分解酵素の解析
好井 健太郎	北海道大学	准教授	フラビウイルス由来長鎖ncRNAによる病態制御の分子機構の解明
渡邊 真弥	国立国際医療研究センター研究所	上級研究員	A群レンサ球菌の劇症型感染症発症における新たな分子機構の解明
			18件
薬学系研究奨励			
氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
秋田 英万	北海道大学	准教授	難水溶性薬物と脂質様サーファクタントとの共集合に基づく超微小ナノ粒子の開発と血中滞留性製剤への展開
秋光 信佳	東京大学	教授	自然免疫応答を制御する核内長鎖ノンコーディングRNAに関する研究
浅井 将	長崎大学	テニュアトラック 助教	新規孤発性アルツハイマー病危険遺伝子TREM2の野生型とR47H変異体の比較研究
天倉 吉章	松山大学	教授	先制医療を指向した認知症発症予防に寄与する天然薬物の探索と漢方薬利活用法の開発

飯居 宏美	京都薬科大学	助教	γ -グルタミルシクロトランスフェラーゼ (GGCT) を標的とした新規抗がん剤の開発
伊藤 慎悟	熊本大学	助教	オーファントランスポーターによるタンパク質翻訳後修飾を介したシグナル伝達制御と腫瘍悪性化機構の解明
伊東 史子	東京薬科大学	准教授	血管内皮細胞のTGF- β シグナルを標的とした腫瘍転移メカニズムの解明と応用
猪熊 翼	徳島大学	特任助教	分子内 <i>N-S</i> アシル転移による反応性制御を基盤とした新規不斉合成反応の開発
岡部 弘基	東京大学	助教	がん細胞内の温度イメージング
加藤 洋平	京都大学	助教	纖毛病の原因となるRabL2-Cep19複合体の機能解析
菅野 陽介	同志社女子大学	助教	Alpha2-antiplasminをターゲットとした強皮症治療法の開発
木下 恵美子	広島大学	助教	チオリン酸化反応を利用した脆弱なタンパク質リン酸基転移反応中間体の追跡
久保田 高明	北海道大学	准教授	強力なアミノ酸輸送体阻害剤ブラシリカルジンAをシーンズとした新規医薬品リードの開発
小谷 仁司	武蔵野大学	助教	サブタイプ選択的LXRリガンドの探索と機能解析
澤田 大介	岡山大学	教授	タキステロール骨格のトリエン構造修飾による生体内作用分離を指向した構造活性相関研究
澤間 善成	岐阜薬科大学	助教	鉄触媒による廃棄物低減型芳香族群の創製ならびに生物活性物質合成への応用
清水 孝恒	星薬科大学	准教授	難治性間葉系腫瘍(骨肉腫)の生体内悪性化分子機構の解明とその克服
鈴木 亮	名古屋市立大学	講師	アレルゲンの親和性が制御するアレルギー反応多様性の解析
関 貴弘	熊本大学	准教授	リソソーム系タンパク質分解系とエキソソームのクロストーク ―神経疾患との関連―
田口 博明	鈴鹿医療科学大学	准教授	β アミロイドペプチドを標的とした高付加価値抗体作成法の開発
立川 正憲	東北大学	准教授	ヒト血液脳関門特異的な輸送機構の解明と薬物脳移行性予測への応用
谷口 陽祐	九州大学	准教授	ピンポイント酸化損傷塩基検出法を基盤とした新規遺伝子標的診断法の開発
辻 泰弘	富山大学	准教授	リチウムイオン濃度の尿細管再吸収・分泌制御機構を基盤とした双極性障害の新たな治療戦略
鶴間 一寛	岐阜薬科大学	助教	網膜再生におけるprogranulin・granulinの機能解析
當銘 一文	千葉大学	助教	天然物によるウイントシグナル制御戦略の開拓
永井 純也	広島大学	准教授	アルブミン誘発HIF-1活性化における脂肪酸の役割解明と新規腎保護薬開発への応用
中澤 敬信	大阪大学	特任准教授	患者由来ヒト神経細胞を用いた統合失調症の病因・病態の分子機構解析
中島 美紀	金沢大学	教授	分子標的薬の副作用発症を左右するmicroRNA-SNP解析に基づいた個別化医療最適化研究
中妻 彩	徳島文理大学	助教	新規IL-13高産生炎症性T細胞によるアレルギー炎症性疾患の発症機序の解明
橋本 博	静岡県立大学	教授	DNA損傷を回避するテンプレートスイッチの構造生物学
原田 慎一	神戸学院大学	講師	脳梗塞に対する新規治療戦略としての中枢末梢臓器間連関機構の役割
日浅 未来	岡山大学	ウーマンテニ アトラック助教	創薬を目指した、好中球におけるATP蓄積・分泌機構の解明
古澤 之裕	慶応義塾大学	助教	ヒストン修飾因子阻害による炎症性腸疾患の克服
水口 貴章	東京医科歯科大学	助教	EGFレセプター二量体阻害ペプチドを基盤とした創薬研究
水谷 暢明	神戸薬科大学	准教授	ステロイド抵抗性を示すアレルギー性気管支喘息の病態解明と制御
三宅 歩	京都大学	講師	摂食制御機構における新規分泌性因子Brobrinの機能解明と創薬への応用
宮本 嘉明	富山大学	准教授	精神疾患に関連するプレシナプスタンパク質Piccoloの中枢神経機能解析
森田 洋行	富山大学	教授	高度な3環式縮環構造を有する新規生理活性アルカロイド群の創製
山口 賀章	京都大学	助教	時差を担う分子・細胞の神経メカニズムの解明による時差治療薬の開発
山本 和宏	神戸大学	薬剤師	分子標的治療薬における間質性肺炎の新規バイオマーカーの統合的探索
吉岡 靖雄	大阪大学	准教授	免疫療法の最適化に資する、腸内細菌叢と獲得免疫応答の連関解析
吉田 優	東京医科歯科大学	助教	新規生物発光基質の創製にもとづく活性酸素種の新たな検出法の開発
脇本 敏幸	東京大学	准教授	抗腫瘍活性天然物の可逆的活性制御機構の解明

43件

特定研究助成			
研究機関	職 位	研 究 題 目	
医薬基盤研究所	プロジェクトリーダー	創薬における日本人疾患組織移植Super-SCID-PDXシステムの樹立	
関西医科大学	教授	食道上皮幹細胞・食道がん幹細胞の階層構造の決定による次世代分子標的薬開発への基盤形成	
国立循環器病研究センター	部長	血液凝固異常性の研究成果に基づく複雑な血栓性・出血性病態の横断的研究	
自治医科大学	センター長・教授	NCDの成因としての間質・実質細胞間ネットワーク破綻のメカニズムの解明と新規治療標的分子の同定	
東京大学	教授	オートファジー制御に資する中分子薬剤の革新	
東京薬科大学	教授	死細胞応答性マクロファージ制御による臓器虚血の克服	
名古屋大学	教授	細胞の運動と形態変化のリバースエンジニアリング研究	
浜松医科大学	教授	癌転移能の迅速診断法と抗癌剤の効能評価法の開発	
宮崎大学	教授	HTLV-1感染からATL発症に至る統合解析による診断治療開発	
琉球大学	教授	ガス分子群の生体制御機構の解明と医学への応用	
			10件
ビジョナリーリサーチ助成			
氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
浅井 真人	名古屋大学	特任講師	側頭葉てんかんの発症機序の研究
家田 真樹	慶應義塾大学	特任講師	直接リプログラミングによる心臓再生
石谷 太	九州大学	准教授	魚を使って、がんの初動メカニズムに迫る
梅崎 昌裕	東京大学	准教授	人類の低タンパク適応に腸内細菌が果たす役割
岡田 随象	東京医科歯科大学	デニユアトラック講師	疾患感受性遺伝子を用いた新しいゲノム創薬手法の開発
岡村 好子	広島大学	准教授	難培養性微生物由来新規生理活性物質取得に向けたモジュール型酵素遺伝子の分離
小林 拓也	京都大学	准教授	GPCRのオリゴマー化を標的にした新しい創薬展開を目指して
佐藤 荘	大阪大学	助教	疾患特異的M2マクロファージの制御
鈴木 一博	大阪大学	特任 准教授	交感神経系による免疫制御の実態解明
高田 修治	国立成育医療研究センター	部長	全蛋白質の細胞内局在の性差解析
立石 敬介	東京大学	講師	ヒト脾がんに対する統合的研究
千葉 滋	筑波大学	教授	特殊ペプチドの応用による造血管腫瘍の病態解明と創薬
津田 誠	九州大学	准教授	神経障害性疼痛の機序解明に向けた新しい評価系の確立と医薬品開発への応用
中川 英刀	理化学研究所	チームリーダー	血漿cell-free DNAのシーケンス解析による癌個別化医療
中村 和裕	群馬大学大学院	准教授	アルツハイマー病原因蛋白の凝集阻害法開発
西江 渉	北海道大学	講師	毛包の器官培養を用いた新しい毛髪再生医療の確立
沼野 利佳	豊橋技術科学大学	准教授	新規エレクトロポレーション法を用いた再生医療実現のボトルネックの克服
羽鳥 恵	慶應義塾大学	特任准教授	非視覚応答を理解し調節する
原 雄二	京都大学	准教授	形質膜疾患克服を志向したペプチド医薬創生
疋田 貴俊	京都大学	特定准教授	精神疾患モデルによる病態解析
堀家 慎一	金沢大学	准教授	自然界に存在しない進化型マウスの開発
松井 秀彰	宮崎大学	助教	超短命アフリカメダカは神経疾患モデルとなり得るか？
丸山 達生	神戸大学大学院	准教授	細胞内分子の自己組織化による抗ガン機能の発現
水谷 健一	同志社大学	准教授	真の神経幹細胞を制御する血管由来の微小環境の解明
峯岸 克行	徳島大学	教授	アトピーと骨粗鬆症を発症する難病の病態解明と新規治療法の開発
森田 林平	慶應義塾大学	講師	直接リプログラミングによるヒト造血幹細胞の作製
山田 武司	愛媛大学	准教授	T細胞疲弊を解除する新規免疫療法の開発
吉澤 達也	熊本大学	講師	エネルギー代謝制御におけるSIRT7分子機能の解明と脂質代謝異常症治療への応用
			28件
ビジョナリーリサーチ継続助成(2011・2012年度ホップ)			

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
神崎 展	東北大学大学院	准教授	骨格筋が発する運動効果ネットワークの探索
高島 成二	大阪大学	教授	ATP合成酵素の直接活性化による心不全治療
内匠 透	理化学研究所	チームリーダー	気分の分子的理解を求めて
竹田 誠	国立感染症研究所	部長	広域スペクトラムウイルス性肺炎治療剤創製のための研究
田中 知明	千葉大学	准教授	ゲノム編集技術を応用したlinc RNAによる老化制御システム解明とその克服
富澤 一仁	熊本大学	教授	新規オミックス研究分野の創造: tRNA修飾異常と疾患
中尾 光善	熊本大学	教授	ミトコンドリア機能向上によるアンチエイジング効果の開発
藤田 敏次	大阪大学	助教	iChIP法を利用した癌のエピジェネティック異常の分子機構の解明ならびに癌治療に向けた応用
松崎 有未	島根大学	教授	E3ユビキチン化酵素を標的とした組織線維化の制御
望月 直樹	国立循環器病研究センター	部長	ゼブラフィッシュから学ぶ細胞移植を用いない哺乳類心筋細胞再生

10件

ビジョナリーリサーチ継続助成(2010年度ステップ)

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
山下 俊英	大阪大学	教授	軸索変性を抑制する分子標的治療法の開発

1件

高等学校理科教育振興奨励

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
青木 秀則	茨城県立水戸第一高等学校	教諭	地層のはぎ取り標本を用いた地学基礎の授業への活性化
石山 静葉	茨城キリスト教学園高等学校	教諭	アンネのバラ色素変化の謎
伊藤 政夫	名古屋市立向陽高等学校	教諭	都市部におけるバタフライガーデンの作成と生態観察
井原 進一	愛媛県立新居浜工業高等学校	教諭	キノコ廃菌床抽出液による染料脱色に関する研究
遠藤 直哉	福島県立福島高等学校	教諭	次世代陸上養殖を可能にする好適環境水による魚の変化を追跡し、養殖への可能性を探る
大原 聡	愛媛大学附属高等学校	教諭	信号反応におけるインジゴカルミンの視覚的定量化・破壊要因特定とその教材化
小田 公生	京都府立城陽高等学校	教諭	天文部活動における、宇宙の距離を測定する研究の方法を確立する。具体的には、恒星のスペクトルから距離を求める。
門脇 秀文	大分県立安心院高等学校	教諭	演示用簡易波力発電装置の作成と発電効率の向上についての研究
北村 崇明	沖縄県立辺土名高等学校	教諭	水生生物を利用した沖縄本島北部河川における環境指標の検討
木村 翔太郎	福島県立湖南高等学校	教諭	猪苗代湖流入河川に関する研究～珪藻を用いた河川の水質調査～
蔵田 康智	兵庫県立神戸北高等学校	教諭	小形風力発電(サボニウス型風力発電)装置の開発および校内での導入・実用化に伴う蓄電池の検討。
黒木 由香美	福岡県立筑紫中央高等学校	主任実験助手	電気泳動法によるタンパク質の研究
古賀 沙絵子	明光学園中学校・高等学校	教諭	ミクロな視点から捉えたアニメーションと水流実験を用いた電気回路の定性的理解
小西 彬仁	兵庫県立神戸甲北高等学校	教諭	分子の構造と物質の性質との相関を意識した実験教材の開発
阪田 忠	長野県飯山北高校	教諭	マメ科植物葉の開閉運動のメカニズムの解明とその教材化
櫻井 正剛	静岡県立静岡農業高等学校	教諭	廃棄松葉を活用した有効利用研究
佐竹 弥代	堺市立堺高等学校	教諭	高等学校教育に於ける課題研究の可能性 ドラマJINより「古典的な方法によるペニシリンの単離」
菅原 佑介	宮城県仙台第三高等学校	教諭	ホウ素とその化合物の高等教育における教材化の研究
鈴木 朋子	茗溪学園中学校高等学校	教諭	ゲンジボタルの遺伝子解析から進化を考える
谷口 裕美枝	静岡県立科学技術高等学校	教諭	教材・教具の手作りを通して引き継ぐ開発・製作のスキル
中村 あつ子	長野県岡谷工業高等学校	教諭	諏訪湖のヒシ成分の化学分析とヒシの利用法の研究
成田 彰	東京工業大学附属科学技術高等学校	教諭	酢酸菌が合成するセルロース膜の機能化の検討および実習教材開発
野口 大介	長崎県立猶興館高等学校	教諭	ネオジム磁石の磁力が電気分解に与える作用～金属樹の形状やヨウ素生成反応への応用～
花原 努	沖縄県立北山高等学校	教諭	沖縄島北部におけるシリケンイモリの水場利用に関する研究
馬場 猛夫	栄東中学校・高等学校	理科教諭	歴史地震の調査から学ぶ地震の「防災」と「復興」
福島 伸一	長野県中野西高等学校	教諭	最新電子機器を使った高等学校での物理教育の可能性を探る

布施 達治	千葉県立行徳高等学校	教諭	環境創造活動を含む生物多様性復元学習の実践と生徒の意識変容の研究
穂積 正人	兵庫県立舞子高等学校	教諭	天文学習における教材の開発と天体観測を通じての地域連携
間世田 雄人	岐阜県立大垣養老高等学校	教諭	養老由来微生物による滝伝説再現実験と養老バイオマスからのアルコール製造
松村 尚和	青翔開智中学校・高等学校	専任教諭	安価な自作PCR装置による遺伝子分析実験～30万円でゼロから始めるPCR
松本 秀樹	山口県立高森高等学校	教諭	山口県南東部のきのこ類
三上 恭彦	広島県立呉三津田高等学校	教諭	身近な昆虫・ニホンミツバチの安全な教材化
水野 義博	静岡県立藤枝東高等学校	教諭	電波を身近に感じながら探究する実験器具の開発
宮下 敦	成蹊中学高等学校	教諭	スプライト観測教材の開発ー昼間のスプライトは観測できるか？ー
矢追 雄一	岐阜県立岐阜高等学校	教諭	高校教育における細胞・組織中の物質の分布と局在のバイオイメージング化
山本 喜一	芝浦工業大学柏中学高等学校	講師	化学の授業に有効な実験授業書作り
吉野 英雄	千葉県立銚子高等学校	教諭	ため池の四季 水生生物消長の教材化
吉村 三智頼	嶺南学園教賀気比高等学校	教諭	3Dプリンタ用分子モデルの製作と、触って見る分子モデル教育の実践
米沢 剛至	仁川学院高校	教諭	フォトICダイオードを用いた化学反応の簡素な演示装置の開発
渡邊 武志	学校法人上田学園上田西高等学校	教諭	学校周辺の生態系調査 へセミと藻類に注目して～

40件

中学校理科教育振興奨励

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
阿子島 充	岩沼市立岩沼中学校	教諭	室内で、短時間で確実にできるダイヤモンドの燃焼実験の方法の追求
石原 茂樹	愛知県安城市篠日中学校	教諭	科学玩具を活用し、科学的資質の高い生徒の育成 ―エネルギー・環境学習を核にして―
市原 義憲	とどろみの森学園	校長	光通信機の製作と長距離通信への挑戦
伊藤 拓也	千葉市立緑が丘中学校	教諭	学習意義を実感させる実験と観察
遠藤 拓海	宮城県古川黎明中学校	教諭	宮城県大崎市における淡水魚の分布調査と環境保全に関わる地域教材の開発
海切 健次	呉市立広南中学校	教諭	・郷土の地質史を探究的に学ぶための校内の環境整備を行う。また、地域の教材を活用した授業プランの開発及び、県内外への情報発信と生徒の学習意欲向上
加藤 太一	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	学芸員	生徒の興味を高める体験学習型地学教材の開発
北澤 太郎	洛星中学高等学校	教諭	自立型ロボットを電子部品から設計作成するクラブ活動の取り組み
小石 裕之	足立区立竹の塚中学校	教諭	竹の塚中学校科学部による「竹」に関する研究活動 ～校内に竹を植える活動を通じて～
齋藤 和宏	勝浦市立北中学校	教諭	地域の自然を生かした理科学習 ―ふぐの産卵を用いた細胞の観察 ―
佐藤 亘	千葉市立貝塚中学校	教諭	加曽利貝塚博物館と連携した縄文式住居の住環境に関する自由研究
釋 知恵子	大阪市博物館協会	総務部事業企画課主任	博物館をめぐる「なるほど！」理科に対する興味を育てるワークシートの作成
菅原 久誠	群馬県立自然史博物館	主任(学芸員)	「さわって理解する地質」教育の教材及び教育プログラムの開発
園山 裕之	島根大学教育学部附属中学校	教諭	探究をつなげ、科学的概念を体系的に啓発する理科カリキュラムの開発・実践とその普及
高木 大輔	木津川市立木津南中学校	教諭	木津南(きずな) チャレンジサイエンス講座ーエネルギーへの途ー
武田 明子	札幌市立柏丘中学校	教諭	地球分野におけるモデル実験の工夫
立木 辰男	佐世保市立早岐中学校	校長	早岐地区生物多様性の調査と保全及び研究者訪問授業による理科教育の充実
田鍋 文雄	茨城県つくばみらい市立小絹中学校	教諭	授業のコンテンツ化とその活用法に関する研究
南部 隆幸	福井市森田中学校	教諭	体感して電流をより身近に学ぶための教材とカリキュラムの開発
額田 和典	新宿区立牛込第一中学校	主任教諭	経験から知識への昇華を目指して ～東日本大震災から学ぶ～
日吉 和一	浅口市鴨方中学校	主幹教諭	太陽の観測を授業や学びに生かす活動
平敷 りか	琉球大学教育学部附属中学校	教諭	知識構成型ジグソー法による多様な学力層に応じた理科教材の開発
水田 昌子	小城市立芦刈中学校	教諭	「ムツゴロウから学ぼう！」～地域の環境を生かした教材の開発～
宮下 和久	長野県塩尻市立丘中学校	教諭	中学校のクラブ活動(部活動)における天文分野の探究活動～発展的で継続的な活動づくりのために～
森 崇	岐阜県海津市立平田中学校	教諭	自ら学び生き生きと活動する生徒の育成～一人一人が確かな学びを実感するための指導と評価の一体化～
森 俊郎	岐阜県養老郡養老町立東部中学校	教諭	デジタル端末を用いた学習評価の工夫・改善
森 正隆	福岡市立千代中学校	主幹教諭	見えない事象をイメージできるようになる資料の開発
森山 正樹	札幌市立白石中学校	教諭	福島を中心とした放射線量率の測定と、放射線量率の経年変化について

山田 浩之	札幌市立屯田北中学校	教諭	未来を創造する力を育む実践～自己理解を進め、探究的思考を高める実践～
渡部 昌邦	富岡町立富岡第一中学校	教頭	月の満ち欠けや日周運動を探究する定点観測教材の開発
30件			
杏雨書屋研究奨励			
氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
田中 純子	練馬区立牧野記念庭園記念館	学芸員	関根雲停の植物画に関する制作背景の研究ー前田利保の編纂物との関連を中心に
平尾 真智子	無所属	なし	『病家要論』『病家心得草』にみる江戸時代の病家と看病
川邊 雄大	二松学舎大学	非常勤講師	杏雨書屋蔵書を用いた中尾万三の学績・事蹟に関する研究ー本草学・中国陶磁器・日中文化交流を中心にー
亀田 一邦	九州国際大学	客員教授	永富独嘯庵の詩文研究ー「詩藁」及び「葆光秘録」(付録文)を中心としてー
周防 一平	北里大学	研究員	下津寿泉と『奇疾便覧(怪妖故事談)』の研究
野尻 佳与子	奈良女子大学	大学院生	江戸時代の伝統売薬「ウルユス」「ホルトス」「フルイム」についての比較研究
片山 玲美	東京衛生学園専門学校	学生	沢庵宗彭著『刺鍼要致』の基礎研究
7件			

2014年度来日外国人留学研究者(国別人数)

<2015年3月31日現在(来日ベース)>

国 別	2014年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	5	0	1	6	6名承認。6名来日。
タ イ	6	6	0	1	7	7名承認。7名来日。
フィリピン	8	8	0	0	8	8名承認。8名来日。
韓 国	5	4	0	1	5	6名承認。5名来日。
中 国	10	9	0	1	10	11名承認。10名来日。
インドネシア	8	8	0	0	8	8名承認。8名来日。
ベトナム	6	7	0	0	7	7名承認。7名来日。 前年度繰越1名は年度内来日出来ず。
7ヵ国 小計	49	47	0	4	51	
上記7ヵ国以外	5	5	0	0	5	6名承認。3名来日。2名は申請時から既に 在日。1名は取り消し。
総 計	54	52	0	4	56	

2014年度外国人留学研究者明細

2014/4/1-2015/3/31来日者

氏 名	所 属	研究機関
台 湾		
I-Chia Liang	Cathay General Hospital	京都大学医学部 眼科学
Yung-Shun Su	Kaohsiung Municipal Hsiao-Kang Hospital	虎の門病院 皮膚科
Tsung-Han Wu	Chang-Gung Memorial Hospital	岩手医科大学 外科学講座
Yen Ta Huang	Buddist Tzu Chi Gneral Hospital	名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学分野
Yung-Chieh Lin	National Cheng Kung University Hospital	埼玉医科大学総合医療センター 小児科
Fan Jiun Wei 2015年度	Linkou Chang Gung Memorial Hospital	東京医科大学 消化器内科
小 計	6名	

タ イ		
Pree Nimmannitya	Thammasat University	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学
Teeranan Laohawiriyakamol	Prince of Songkhla University	岩手医科大学 放射線医学講座
Tanyaporn Chantarojanasiri	Police General Hospital	名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座 消化器内科学
Thitirat Kumpasano	Pattani Hospital	国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科
Suthipas Pongmanee	Vachira Phuket Hospital	北海道整形外科記念病院 整形外科
Nuttawong Sattayopas	Chiangrai Prachanukroh Hospital	奈良県立医科大学 整形外科科学教室
Chanatthee Kitsiripant 2015年度	Prince of Songkla University	東京女子医科大学 医学部麻酔科
小 計	7名	

フィリピン		
Milabelle B. Lingan	St. Luke' s Medical Center	北海道大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Hans Jeremy Rivera Ramos	The Medical City	国立がん研究センター 内視鏡科・呼吸器内視鏡
Nena Baoy Narajos	St. John Hospital	ひろしば耳鼻咽喉科 京都みみはな手術センター
Marlon B. Marquina	Dela Salle Health Sciences Institute	国立がん研究センター 頭頸部腫瘍科・形成外科
Donnel Alexis T. Rubio	University of the Philippines	金沢大学附属病院 整形外科
Apolinario Jr. Milla De Gracia	Gneral Santos Doctors' Hospital Inc.	大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座
Edgard Jr. Mendoza Fullante	Lung Center of the Philippines	虎の門病院 呼吸器センター外科
Dizza Ruales Dujali	Medical Mission Hospital	岐阜市民病院 消化器内科
小 計	8名	

韓 国		
Ki-Bum Won	Myongji Hospital, Cardiovascular Center	聖路加国際病院 循環器内科
Kim Cheol Hong	Hallym University Dongtan Sacred Heart Hospital	日本医科大学附属病院 呼吸器内科
Jung Hee Lee	Pusan National University Yangsan Hospital	京都大学医学部附属病院 病理診断科
Jong-Mok Lee	Pusan National University Yangsan Hospital	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所疾病研究第一部
Hyemoon Chung 2015年度	Severance Hospital	国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター臨床研究部
小 計	5名	

中 国		
郭万亮 (Guo Wan liang)	蘇州大学附属児童医院 Children's Hospital of Soochow University	国立成育医療研究センター RI管理室
严瑾 (Yan Jin)	四川大学华西医院 West China Hospital, Sichuan University	北里大学医学部 消化器内科
陳志萍 (Chen Zhiping)	江西省中瘤医院 Jiangxi Oncology Hospital	京都大学医学部附属病院 放射線治療科
杨晓梅 (Yang Xiao mei)	兰州大学第一医院 The first hospital of lanzhou University	国立病院機構京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部
唐耘燮 (Tang Yunman)	四川省医学科学院・四川省人民医院 Sichuan Medical Science Academy and Sichuan Provincial People' s Hospital	あいち小児保健医療総合センター 泌尿器科
謝海 (Hai Xie)	海南医学院附属医院 The Affiliated Hospital of Hainan Medical College	関西医科大学 麻酔科学講座
劉毅 (Liu Yi)	北京市結核病胸部肿瘤研究所 Beijing Tuberculosis and Thoracic Tumour Research Institute	東京大学医科学研究所 感染・免疫大部門感染遺伝学分野

氏 名	所 属	研究機関
呉文捷 (Wu Wenjie)	福建省立医院 Fujian Provincial Hospital	慶應義塾大学医学部 眼科学教室
楊勇 (Yang Yong)	寧夏回族自治区人民医院 The People's Hospital of NingXia Hui Autonomous Region	東京女子医科大学 消化器病センター
呉鋒 (Wu Feng) 2015年度	邯鄲市中心医院 Handan Central Hospital	東京女子医科大学 脳神経外科
小 計	10名	

インドネシア

Vina Yanti Susanti	Sardjito Hospital, Gadjah Mada University	群馬大学生体調節研究所 代謝シグナル解析分野
Mario Marbungaran Hutapea	Cipto Mangunkusumo Hospital	国立成育医療研究センター 眼科
Lukas Widhiyanto	Dr. Soetomo Hospital	獨協医科大学 整形外科
Fransiska Kaligis	University of Indonesia	九州大学病院 子どものこころ診療部
Achmad Kemal Harzif	Cipto Mangunkusumo Hospital	聖マリアンナ医科大学病院 生殖医療センター
Mila Maidarti	Cipto Mangunkusumo Hospital	聖マリアンナ医科大学病院 産婦人科学
Vivian Sutikno	University of Indonesia	新潟薬科大学 臨床薬理学
Novi Silvia Hardiany	University of Indonesia	筑波大学大学院人間総合科学研究科 再生幹細胞生物学研究室
小 計	8名	

ベトナム

Ngo Thi Tuyet Hanh	Ho Chi Minh City University	滋賀医科大学病理学講座 分子診断病理学部門
Nguyen Thi Ngoc Dao	Pham Ngoc Thach University of Medicine	浜松医科大学 麻酔・蘇生学
Thang Toan Nguyen	Thanh Nhan Hospital	大阪医科大学 腎泌尿器外科
Tu Duy Linh	Vietduc Hospital	横浜南共済病院 整形外科
Do Quang Tuyen	Thang Long University	兵庫県立大学 看護学部看護学科看護基礎講座
Pham Tuan Anh	National Cancer Hospital of Viet Nam	国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科
Thang Nguyen Viet	Huu Nghi hospital	帝京大学 アジア国際感染症制御研究所
小 計	7名	

そ の 他

Nisha Narichal Kannan インド	University of Calicut	岡山大学大学院自然科学研究科 時間生物学
Sherif Mohamed Diaa Eldin Abdelhamed エジプト	富山大学	富山大学和漢医薬学総合研究所 病態生化学分野
Kristopher Scott McEown カナダ	MacEwan University	筑波大学 分子行動科学研究コア
Dya Fita Eddy Dibwe コンゴ	富山大学	富山大学和漢医薬学総合研究所 先端ライフサイエンス拠点
Mrityunjoy Biswas バングラデシュ	Nipro JMI Pharma Ltd.	日本医科大学 基礎医学放射性同位元素研究室
小 計	5名	
合 計	56名	

別表(4)

国別外国人留学研究者数累計

2015/3/31現在
(来日ベース)

国 別 \ 期 間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台 湾	22	52	108	50	304	1	537	1964
タ イ		6	9	105	57		177	1966
フィリピン		5	7	87	18		117	1971
韓 国		1	101	15			117	1972
中 国		27	108	83			218	1981
インドネシア		7	15	43	59	2	126	1982
ベトナム			2	13	34	1	50	1998
アメリカ		3			1		4	
アルバニア				1			1	
イギリス		1					1	
イタリア		1	2	1			4	
イラン			1				1	
インド		2	6	8	1		17	
エジプト			3	3	1		7	
オーストラリア			2				2	
カナダ			2	1			3	
コンゴ			1				1	
シリア			1				1	
スウェーデン			2				2	
セネガル				1			1	
チュニジア			1				1	
ドイツ		4	4	3			11	
トルコ			1	3			4	
ニュージーランド				1			1	
ネパール			1	1			2	
パラグアイ			1	2			3	
バングラデシュ			4	7	2		13	
ブラジル			1				1	
フランス		2	3	3	1		9	
ベネズエラ			1				1	
ペルー		1	1	2			4	
ベルギー				1			1	
マレーシア			1		1		2	
ミャンマー		1		3	3		7	
メキシコ		1					1	
スイス			1				1	
ベラルーシ			1				1	
モンゴル				1			1	
ロシア		1	1			1	3	
合計	22	115	392	438	482	5	1,454	

医学部博士課程奨学助成者

2014年度 新規奨学助成者

氏 名	博士課程進学後の所属講座・教室
栗川 義峻	東京大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学専攻生化学・分子生物学講座分子生物学分野
星野 悠樹	東京大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学専攻生化学・分子生物学講座分子生物学分野
川平 直史	京都大学大学院医学研究科生体構造医学講座機能微細形態学分野
西村 知華	京都大学大学院医学研究科生体情報科学講座
金丸 央	大阪大学微生物病研究所自然免疫学分野
宮崎 敬大	大阪大学大学院医学系研究科連携大学院循環微小画像医学
大原 悠紀	名古屋大学大学院医学系研究科病理病態学講座生体反応病理学
北岡 一樹	名古屋大学大学院医学系研究科分子病原細菌学／耐性菌制御学分野
佐藤 裕真	九州大学大学院医学研究院ウイルス学
比嘉 綱己	九州大学生体防御医学研究所細胞機能制御学部門分子医科学分野
菊地 佑樹	東北大学大学院医学系研究科細胞組織学分野
山崎 有人	東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野
大塚 勇太郎	北海道大学大学院医学研究科生化学講座分子生物学分野
高島 謙	北海道大学大学院医学研究科免疫学分野

14名

2012年度継続奨学助成者の中で、研究優秀による追加奨学助成者

氏 名	博士課程進学後の所属講座・教室
鈴木 純二	東京大学大学院医学系研究科細胞分子薬理学講座
藤原 慧	大阪大学医学系研究科・分子神経科学講座

2名

第18回武田科学振興財団生命科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者

氏名	所属	ポスタータイトル
荒木 敏行	Princess Margaret Cancer Center	Modeling Hypertrophic Cardiomyopathy (HCM) Caused by RAS/ERK Pathway Mutations using Engineered Heart Tissue
安藤 美樹	東京大学医科学研究所 幹細胞治療分野	The Safeguard System for Rejuvenated T cell Immunotherapy
豊原 敬文	京都大学 iPS細胞研究所	Cell therapy using hiPSC-derived nephron progenitors ameliorates acute kidney injury in mice
中西 秀之	京都大学 iPS細胞研究所 初期化機構研究部門 齊藤博英研究室	Novel microRNA reporter vectors to distinguish microRNA activity from transcriptional repression
西村 周泰	京都大学 iPS細胞研究所 臨床応用研究部門	Identification of novel supportive factor for survival of iPSC-derived dopaminergic progenitor
畠山 英之	国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第二部	Generation of patient-derived isogenic iPSCs each carrying "all-or-none" mtDNA mutations toward disease modeling and drug screening
山下 晃弘	京都大学 iPS細胞研究所	Statin treatment rescues FGFR3 skeletal dysplasia phenotypes

Ⅱ. 処務の概要

2015年3月31日現在

1. 理事、監事に関する事項		理事 定数：5人～10人 現在：常勤 非常勤 計 2人 6人 8人 任期：2年				監事 定数：2人 現在：非常勤 計 2人 2人 任期：4年	
	氏 名	就 任		再 任		基本給 (月額)	職 名
		就 任 年月日	登 記 年月日	再 任 年月日	登 記 年月日	単位：円	
理事 (理事長) 常勤	横山 巖	2005. 9. 30	2005. 10. 12	2013. 6. 14	2013. 6. 24	807,000	
理事 (常務理事) 常勤	前野 哲也	2013. 6. 14	2013. 6. 24	—	—	757,000	
理事 非常勤	北澤 清	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2013. 6. 14	2013. 6. 24	なし	(一社) 未承認薬等開発支援センター 理事 元武田薬品工業株式会社 常務取締役
理事 非常勤	北村 惣一郎	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2013. 6. 14	2013. 6. 24	なし	堺市立病院機構 理事長 国立循環器病研究センター 名誉総長
理事 非常勤	桑野 信彦	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2013. 6. 14	2013. 6. 24	なし	九州大学 特任教授・名誉教授
理事 非常勤	郷 通子	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2013. 6. 14	2013. 6. 24	なし	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 理事
理事 非常勤	澁谷 正史	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2013. 6. 14	2013. 6. 24	なし	上武大学 学長 東京大学 名誉教授 東京医科歯科大学 客員教授
理事 非常勤	西脇 正泰	2007. 9. 30	2007. 10. 12	2013. 6. 14	2013. 6. 24	なし	元武田薬品工業株式会社
監事 非常勤	中山 俊治	2009. 10. 1	2010. 12. 1	2013. 6. 14	2013. 6. 24	なし	弁護士
監事 非常勤	夏住 要一郎	2011. 6. 17	2011. 6. 30	—	—	なし	弁護士

2015年3月31日現在

2. 評議員に関する事項		評議員 定数：10人～15人 現在：非常勤 計 11人 11人 任期：4年		
	氏 名	就任 年月日	再任 年月日	職 名
評議員	井上 圭三	2010. 12. 1	2014. 6. 13	帝京大学 副学長 東京大学 名誉教授
評議員	春日 雅人	2010. 12. 1	2014. 6. 13	国立国際医療研究センター 総長・理事長
評議員	河盛 隆造	2014. 6. 13	—	順天堂大学 特任教授 順天堂大学大学院スポーツロジセンター長 カナダ・トロント大学医学部生理学講座 教授
評議員	齋藤 英彦	2010. 12. 1	2014. 6. 13	国立病院機構名古屋医療センター 名誉院長
評議員	笹川 千尋	2010. 12. 1	2014. 6. 13	日本生物科学研究所 常務理事 東京大学 名誉教授 千葉大学真菌医学研究センター長
評議員	武田 光子	2014. 6. 13	—	(公財) 発酵研究所 理事
評議員	永井 美之	2010. 12. 1	2014. 6. 13	理化学研究所 新興・再興感染症研究ネットワーク推進 センター長 名古屋大学・東京大学 名誉教授
評議員	名和田 新	2014. 6. 13	—	医療法人誠和会牟田病院 名誉院長 九州大学 名誉教授
評議員	長谷川 閑史	2010. 12. 1	2014. 6. 13	武田薬品工業株式会社 取締役会長
評議員	本庶 佑	2010. 12. 1	2014. 6. 13	京都大学大学院医学研究科 特任教授 静岡県公立大学法人 理事長
評議員	眞弓 忠範	2010. 12. 1	2014. 6. 13	神戸学院大学大学院薬学研究科 教授 大阪大学 名誉教授

3. 職員に関する事項			
	人 数	基本給合計月額（単位：円）	備 考
事務職員	6	3, 092, 000	全員が専任者である。

4. 会議に関する事項	
＜理事会＞	
第17回定時理事会 2014年5月23日	議案 ・ 2013年度事業報告および財務諸表等承認の件 ・ 定時評議員会開催の件 ・ 報告事項 職務の執行状況の報告の件
第18回臨時理事会 2014年6月13日	議案 ・ 武田薬品の株主総会の議案について
第19回臨時理事会 2014年11月12日	議案 ・ 2015年度事業計画の件
第20回定時理事会 2015年3月6日	議案 ・ 2015年度事業計画の件 ・ 2015年度予算の件 ・ 選考委員選任の件 ・ 経理規程改定の件 ・ 評議員会開催の件 ・ 報告事項 職務の執行状況の報告の件・規程類改定の件
＜評議員会＞	
第10回定時評議員会 2014年6月13日	議案 ・ 評議員11名選任の件 ・ 2013年度事業報告および決算内容報告の件
第11回臨時評議員会 2015年3月26日 (みなし決議・報告による)	議案 ・ 経理規程改定の件 ・ 2015年度事業計画の件 ・ 2015年度予算の件

5. 寄附金に関する事項		
寄 附 者	寄附の目的	寄 附 金 額
坂井印刷他7件	公益事業目的発展のため	542,000円

貸 借 対 照 表

(2015年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	54,459,299	66,452,850	-11,993,551
前払金	2,701,350	1,000,000	1,701,350
流動資産合計	57,160,649	67,452,850	-10,292,201
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	13,158,044	13,537,244	-379,200
投資有価証券	94,452,323,384	77,432,859,024	17,019,464,360
図書資料	2,654,695,476	2,624,716,976	29,978,500
基本財産合計	97,120,176,904	80,071,113,244	17,049,063,660
(2) 特定資産			
助成基金	21,294,346,856	18,274,380,283	3,019,966,573
杏雨基金	231,260,435	231,307,943	-47,508
資産取得資金	55,745,000	20,468,000	35,277,000
寄附者指定特定基金	2,462,464,929	1,481,762,009	980,702,920
建物	156,375,772	162,558,932	-6,183,160
特定資産合計	24,200,192,992	20,170,477,167	4,029,715,825
(3) その他固定資産			
建物	158,862,927	171,871,720	-13,008,793
什器備品	270,816,353	302,108,029	-31,291,676
ソフトウェア	24,252,035	31,213,031	-6,960,996
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	453,981,315	505,242,780	-51,261,465
固定資産合計	121,774,351,211	100,746,833,191	21,027,518,020
資産合計	121,831,511,860	100,814,286,041	21,017,225,819
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,310,510	6,966,515	-656,005
未払費用	897,801	921,203	-23,402
預り金	2,651,147	2,553,050	98,097
流動負債合計	9,859,458	10,440,768	-581,310
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	9,010,550	7,425,000	1,585,550
退職給付引当金	3,263,000	1,408,000	1,855,000
固定負債合計	12,273,550	8,833,000	3,440,550
負債合計	22,133,008	19,273,768	2,859,240
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	91,823,693,500	74,879,398,000	16,944,295,500
基本財産受取配当金利息	2,618,456,814	1,643,937,054	974,519,760
指定正味財産合計	94,442,150,314	76,523,335,054	17,918,815,260
(うち基本財産への充当額)	(91,823,693,500)	(74,879,398,000)	(16,944,295,500)
(うち特定資産への充当額)	(2,618,456,814)	(1,643,937,054)	(974,519,760)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(5,296,483,404)	(5,191,715,244)	(104,768,160)
(うち特定資産への充当額)	(21,581,736,178)	(18,526,540,113)	(3,055,196,065)
正味財産合計	121,809,378,852	100,795,012,273	21,014,366,579
負債及び正味財産合計	121,831,511,860	100,814,286,041	21,017,225,819

正味財産増減計算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,801,929,954	1,847,701,447	-45,771,493
基本財産受取配当金	1,780,650,240	1,825,401,385	-44,751,145
基本財産受取利息	21,279,714	22,300,062	-1,020,348
特定資産運用益	515,163,497	510,041,203	5,122,294
特定資産受取配当金	468,964,080	468,964,080	0
特定資産受取利息	46,199,417	41,077,123	5,122,294
受取寄付金	542,000	340,000	202,000
受取寄付金	542,000	340,000	202,000
雑収益	169,416	7,815,736	-7,646,320
受取利息	169,416	209,015	-39,599
有価証券運用益	0	7,606,721	-7,606,721
経常収益計	2,317,804,867	2,365,898,386	-48,093,519
(2) 経常費用			
事業費	2,270,617,847	2,279,240,175	-8,622,328
武田報彰医学研究助成金	210,000,000	150,000,000	60,000,000
生命科学研究助成金	210,000,000	180,000,000	30,000,000
ライフサイエンス研究奨励金	60,000,000	62,000,000	-2,000,000
医学系研究奨励金	408,000,000	487,000,000	-79,000,000
薬学系研究奨励金	86,000,000	102,000,000	-16,000,000
特定研究助成金	400,000,000	400,000,000	0
ヒトゲノム研究助成金	116,000,000	114,000,000	2,000,000
高等学校理科教育振興奨励金	12,000,000	11,700,000	300,000
中学校理科教育振興奨励金	9,000,000	9,000,000	0
杏雨書屋研究奨励金	5,000,000	4,700,000	300,000
外国人留学助成金	87,697,556	95,352,100	-7,654,544
武田医学賞褒賞金	45,000,000	30,000,000	15,000,000
シンポジウム褒賞金	3,500,000	3,500,000	0
医学部博士課程奨学助成	125,800,000	75,600,000	50,200,000
助成金等費用	28,748,898	30,745,115	-1,996,217
役員報酬	11,194,960	11,212,750	-17,790
給料手当	35,597,739	33,275,598	2,322,141
役員退職慰労引当金繰入額	810,658	728,471	82,187
退職給付費用	1,025,000	301,500	723,500
福利厚生費	7,189,853	6,203,844	986,009
会議費	49,266,567	39,685,953	9,580,614
旅費交通費	58,482,043	52,323,828	6,158,215
通信運搬費	4,082,228	32,033,323	-27,951,095
減価償却費	57,445,313	43,433,822	14,011,491
消耗品費	6,981,677	44,961,840	-37,980,163
修繕費	50,632,830	48,583,986	2,048,844
印刷製本費	39,429,266	57,142,004	-17,712,738
光熱水料費	2,818,459	1,895,191	923,268
賃借料	51,649,099	45,187,723	6,461,376
保険料	8,469,868	11,778,402	-3,308,534
諸謝金	8,686,337	7,788,320	898,017
委託費	53,105,896	70,419,752	-17,313,856
広報費	16,852,972	16,265,493	587,479
雑費	150,628	421,160	-270,532
管理費	47,187,020	86,658,211	-39,471,191
役員報酬	12,887,092	17,196,900	-4,309,808

給料手当	10,899,646	10,346,165	553,481
役員退職慰労引当金繰入額	1,174,892	2,415,029	-1,240,137
退職給付費用	830,000	330,000	500,000
福利厚生費	4,968,189	4,538,977	429,212
会議費	1,697,131	9,044,587	-7,347,456
旅費交通費	1,831,653	12,513,794	-10,682,141
通信運搬費	467,210	532,014	-64,804
減価償却費	794,141	683,037	111,104
消耗品費	1,272,757	11,792,518	-10,519,761
修繕費	232,221	499,590	-267,369
印刷製本費	311,400	1,306,958	-995,558
光熱水料費	1,737,789	1,218,652	519,137
賃借料	2,882,351	2,267,609	614,742
保険料	147,222	152,348	-5,126
諸謝金	447,147	657,883	-210,736
租税公課	100,000	8,000	92,000
会計監査報酬	1,575,000	1,624,380	-49,380
委託費	2,576,884	9,015,548	-6,438,664
広報費	0	10,000	-10,000
雑費	354,295	504,222	-149,927
経常費用計	2,317,804,867	2,365,898,386	-48,093,519
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	74,735,934	12,471,914	62,264,020
基本財産評価損益等	74,735,934	12,471,914	62,264,020
特定資産評価損益等	3,020,815,385	-354,512,699	3,375,328,084
特定資産評価損益等	3,020,815,385	-354,512,699	3,375,328,084
評価損益等計	3,095,551,319	-342,040,785	3,437,592,104
当期経常増減額	3,095,551,319	-342,040,785	3,437,592,104
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,095,551,319	-342,040,785	3,437,592,104
一般正味財産期首残高	24,271,677,219	24,613,718,004	-342,040,785
一般正味財産期末残高	27,367,228,538	24,271,677,219	3,095,551,319
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2,755,170,000	2,755,170,000	0
基本財産受取配当金	2,755,170,000	2,755,170,000	0
特定資産運用益	413,536	48,693	364,843
特定資産受取利息	413,536	48,693	364,843
基本財産評価損益	16,944,295,500	-2,112,297,000	19,056,592,500
基本財産評価損益	16,944,295,500	-2,112,297,000	19,056,592,500
一般正味財産への振替額	-1,781,063,776	-1,825,450,078	44,386,302
一般正味財産への振替額	-1,781,063,776	-1,825,450,078	44,386,302
当期指定正味財産増減額	17,918,815,260	-1,182,528,385	19,101,343,645
指定正味財産期首残高	76,523,335,054	77,705,863,439	-1,182,528,385
指定正味財産期末残高	94,442,150,314	76,523,335,054	17,918,815,260
III 正味財産期末残高	121,809,378,852	100,795,012,273	21,014,366,579

正味財産増減計算書内訳表

2014年4月1日から2015年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	21,279,714	0	0	0	0	0	1,733,900,605	1,755,180,319	46,749,635		1,801,929,954
基本財産受取配当金	0	0	0	0	0	0	1,733,900,605	1,733,900,605	46,749,635		1,780,650,240
基本財産受取利息	21,279,714	0	0	0	0	0		21,279,714			21,279,714
特定資産運用益	513,873,857	0	0	0	0	876,025	145,646	514,895,528	267,969		515,163,497
特定資産受取配当金	468,964,080	0	0	0	0	0	0	468,964,080	0		468,964,080
特定資産受取利息	44,909,777	0	0	0	0	876,025	145,646	45,931,448	267,969		46,199,417
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	542,000	542,000	0		542,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	542,000	542,000	0		542,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	169,416		169,416
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	169,416		169,416
経常収益計	535,153,571	0	0	0	0	876,025	1,734,588,251	2,270,617,847	47,187,020		2,317,804,867
(2) 経常費用											
事業費	1,623,414,189	271,808,856	63,874,038	100,106,216	23,494,850	187,916,968	2,730	2,270,617,847			2,270,617,847
武田祖胤医学研究助成金	210,000,000							210,000,000			210,000,000
生命科学研究助成金	210,000,000							210,000,000			210,000,000
ライフサイエンス研究奨励金	60,000,000							60,000,000			60,000,000
医学系研究奨励金	408,000,000							408,000,000			408,000,000
薬学系研究奨励金	86,000,000							86,000,000			86,000,000
特定研究助成金	400,000,000							400,000,000			400,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	116,000,000							116,000,000			116,000,000
高等学校理科教育振興奨励金	12,000,000							12,000,000			12,000,000
中学校理科教育振興奨励金	9,000,000							9,000,000			9,000,000
杏雨書屋研究奨励金	5,000,000							5,000,000			5,000,000
外国人留学助成金		87,697,556						87,697,556			87,697,556
武田医学賞褒賞金			45,000,000					45,000,000			45,000,000
シンポジウムポスター褒賞金				3,500,000				3,500,000			3,500,000
医学部博士課程奨学助成		125,800,000						125,800,000			125,800,000
助成金等費用	20,625,000	90,000	2,250,000	450,000		5,333,898		28,748,898			28,748,898
役員報酬	4,379,200	2,365,580	981,820	437,920	218,960	2,811,480		11,194,960			11,194,960
給料手当	9,894,101	8,952,985	835,720	3,960,790	1,195,414	10,758,729		35,597,739			35,597,739
役員退職慰労引当金繰入額	317,110	171,298	71,096	31,711	15,856	203,587		810,658			810,658
退職給付費用	675,000	79,750	75,000	45,250	15,000	135,000		1,025,000			1,025,000
福利厚生費	699,232	1,531,239	699,233	1,531,238	0	2,728,911		7,189,853			7,189,853
会議費	10,242,603	5,287,992	4,358,639	25,943,431	0	3,433,902		49,266,567			49,266,567
旅費交通費	13,345,639	13,915,300	2,319,659	26,776,837	6,580	2,118,028		58,482,043			58,482,043
通信運搬費	781,780	676,248	78,038	113,765	1,401,851	1,030,546		4,082,228			4,082,228
減価償却費	1,657,300	1,029,724	607,320	645,472	603,348	52,902,149		57,445,313			57,445,313
消耗品費	2,285,529	1,725,681	668,244	402,547	0	1,899,676		6,981,677			6,981,677
修繕費	0	0	0	0	0	50,632,830		50,632,830			50,632,830
印刷製本費	14,115,043	1,513,171	1,069,287	71,945	16,469,801	6,190,019		39,429,266			39,429,266
光熱水料費	463,410	540,336	347,557	540,336	0	926,820		2,818,459			2,818,459
賃借料	2,881,568	3,685,669	2,880,241	2,880,516	2,880,198	36,440,907		51,649,099			51,649,099
保険料	11,032	3,537,849	11,032	11,032	11,032	4,887,891		8,469,868			8,469,868
諸謝金	3,844,144	826,587	667,920	992,007	601,398	1,754,281		8,686,337			8,686,337
委託費	5,045,768	11,705,403	849,920	31,771,419	75,412	3,657,974		53,105,896			53,105,896
広報費	16,140,870	600,582	101,520	0	0	10,000		16,852,972			16,852,972
雑費	9,860	75,906	1,792	0	0	60,340	2,730	150,628			150,628

正味財産増減計算書内訳表

2014年4月1日から2015年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
管理費									47,187,020		47,187,020
役員報酬									12,887,092		12,887,092
給料手当									10,899,646		10,899,646
役員退職慰労引当金繰入額									1,174,892		1,174,892
退職給付費用									830,000		830,000
福利厚生費									4,968,189		4,968,189
会議費									1,697,131		1,697,131
旅費交通費									1,831,653		1,831,653
通信運搬費									467,210		467,210
減価償却費									794,141		794,141
消耗品費									1,272,757		1,272,757
修繕費									232,221		232,221
印刷製本費									311,400		311,400
光熱水料費									1,737,789		1,737,789
賃借料									2,882,351		2,882,351
保険料									147,222		147,222
諸謝金									447,147		447,147
租税公課									100,000		100,000
会計監査報酬									1,575,000		1,575,000
委託費									2,576,884		2,576,884
雑費									354,295		354,295
経常費用計	1,623,414,189	271,808,856	63,874,038	100,106,216	23,494,850	187,916,968	2,730	2,270,617,847	47,187,020		2,317,804,867
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,088,260,618	-271,808,856	-63,874,038	-100,106,216	-23,494,850	-187,040,943	1,734,585,521	0	0		0
基本財産評価損益等	74,735,934							74,735,934			74,735,934
基本財産評価損益等	74,735,934							74,735,934			74,735,934
特定資産評価損益等	3,020,815,385							3,020,815,385			3,020,815,385
特定資産評価損益等	3,020,815,385							3,020,815,385			3,020,815,385
評価損益等計	3,095,551,319							3,095,551,319			3,095,551,319
当期経常増減額	2,007,290,701	-271,808,856	-63,874,038	-100,106,216	-23,494,850	-187,040,943	1,734,585,521	3,095,551,319	0		3,095,551,319
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計								0	0		0
(2) 経常外費用											
経常外費用計								0	0		0
当期経常外増減額								0	0		0
当期一般正味財産増減額	2,007,290,701	-271,808,856	-63,874,038	-100,106,216	-23,494,850	-187,040,943	1,734,585,521	3,095,551,319	0		3,095,551,319
一般正味財産期首残高											24,271,677,219
一般正味財産期末残高											27,367,228,538
II 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
基本財産受取配当金							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
特定資産運用益							145,646	145,646	267,890		413,536
特定資産受取利息							145,646	145,646	267,890		413,536
基本財産評価損益							15,178,630,500	15,178,630,500	1,765,665,000		16,944,295,500
基本財産評価損益							15,178,630,500	15,178,630,500	1,765,665,000		16,944,295,500
一般正味財産への振替額							-1,734,046,251	-1,734,046,251	-47,017,525		-1,781,063,776
一般正味財産への振替額							-1,734,046,251	-1,734,046,251	-47,017,525		-1,781,063,776
当期指定正味財産増減額								15,912,799,895	2,006,015,365		17,918,815,260
指定正味財産期首残高											76,523,335,054
指定正味財産期末残高											94,442,150,314
III 正味財産期末残高											121,809,378,852

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	7,425,000	1,585,550	0	0	9,010,550
退職給付引当金	1,408,000	1,855,000	0	0	3,263,000

キャッシュ・フロー計算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,776,393,419	2,777,709,624	-1,316,205
配当金収入	2,755,170,000	2,755,170,000	0
利息収入	21,223,419	22,539,624	-1,316,205
特定資産運用収入	516,056,186	511,276,547	4,779,639
配当金収入	468,964,080	468,964,080	0
利息収入	47,092,106	42,312,467	4,779,639
寄付金収入	542,000	340,000	202,000
雑収入	169,416	209,015	-39,599
利息収入	169,416	209,015	-39,599
事業活動収入計	3,293,161,021	3,289,535,186	3,625,835
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	1,620,764,779	1,628,252,829	-7,488,050
奨学助成事業支出	270,528,084	205,353,142	65,174,942
武田医学賞褒賞事業支出	63,120,622	53,788,239	9,332,383
国際シンポジウム事業支出	99,383,783	86,151,880	13,231,903
本草医書発刊事業支出	22,860,646	45,194,880	-22,334,234
本草医書公開事業支出	134,797,732	215,998,990	-81,201,258
公益目的事業共通費支出	2,730	1,690	1,040
管理費支出	44,787,987	74,149,438	-29,361,451
その他の事業活動支出	2,161,160	19,190,888	-17,029,728
事業活動支出計	2,258,407,523	2,328,081,976	-69,674,453
事業活動によるキャッシュ・フロー	1,034,753,498	961,453,210	73,300,288
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	1,290,381,769	979,176,139	311,205,630
基本財産普通預金収入	645,381,769	489,176,139	156,205,630
基本財産投資有価証券償還収入	645,000,000	490,000,000	155,000,000
特定資産取崩収入	3,404,171,131	2,948,807,675	455,363,456
特定資産普通預金収入	1,704,171,131	1,387,841,900	316,329,231
特定資産投資有価証券償還収入	1,700,000,000	1,394,800,000	305,200,000
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	0	166,165,775	-166,165,775
定期預金取崩収入	30,000,000	0	30,000,000
投資活動収入計	4,724,552,900	3,927,983,814	796,569,086
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	1,320,357,700	1,044,091,960	276,265,740
基本財産普通預金支出	645,000,000	490,000,000	155,000,000
基本財産投資有価証券取得支出	645,379,200	489,173,500	156,205,700
図書資料取得支出	29,978,500	64,918,460	-34,939,960
特定資産取得支出	4,420,147,420	3,902,647,433	517,499,987
特定資産普通預金支出	1,700,000,000	1,394,800,000	305,200,000
特定資産投資有価証券取得支出	1,704,167,500	1,387,838,200	316,329,300
特定資産資産取得資金取得支出	35,277,000	20,468,000	14,809,000
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	980,702,920	933,375,458	47,327,462
特定資産建物取得支出	0	166,165,775	-166,165,775
固定資産取得支出	794,829	446,485,732	-445,690,903
建物購入支出	0	179,460,183	-179,460,183
什器備品購入支出	341,229	234,319,919	-233,978,690
ソフトウェア購入支出	453,600	32,655,630	-32,202,030
保証金支出	0	50,000	-50,000
投資活動支出計	5,741,299,949	5,393,225,125	348,074,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,016,747,049	-1,465,241,311	448,494,262
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	18,006,449	-503,788,101	521,794,550
VI 現金及び現金同等物の期首残高	36,452,850	540,240,951	-503,788,101
VII 現金及び現金同等物の期末残高	54,459,299	36,452,850	18,006,449

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- ①満期保有目的の債券
②その他有価証券
(時価のあるもの)
- 債却原価法(定額法)によっている。
期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として
処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ①建物
②什器備品
③ソフトウェア
- 定額法によっている。
定額法によっている。
定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
- ①役員退職慰労引当金
②退職給付引当金
- 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。
職員の退職金の支給に備えるため、職員給与・職員退職金規程に基づく期末要支給額を
計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金	13,537,244	0	379,200	13,158,044
投資有価証券	77,432,859,024	17,019,464,360	0	94,452,323,384
図書資料	2,624,716,976	29,978,500	0	2,654,695,476
基本財産小計	80,071,113,244	17,049,442,860	379,200	97,120,176,904
特定資産				
助成基金	18,274,380,283	3,019,966,573	0	21,294,346,856
杏雨基金	231,307,943	0	47,508	231,260,435
資産取得資金	20,468,000	35,277,000	0	55,745,000
寄附者指定特定基金	1,481,762,009	980,702,920	0	2,462,464,929
建物	162,558,932		6,183,160	156,375,772
特定資産小計	20,170,477,167	4,035,946,493	6,230,668	24,200,192,992
合計	100,241,590,411	21,085,389,353	6,609,868	121,320,369,896

- (注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期増加額のうち、16,944,295,500円は株式の時価評価益であり、その他償却原価等も含んでいる。
2. 特定資産の助成基金の当期増加額のうち、2,884,129,092円は株式の時価評価益であり、その他償却原価等も含んでいる。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現金預金	13,158,044		13,158,044	
投資有価証券	94,452,323,384	91,823,693,500	2,628,629,884	
図書資料	2,654,695,476		2,654,695,476	
基本財産小計	97,120,176,904	91,823,693,500	5,296,483,404	(0)
特定資産				
助成基金	21,294,346,856		21,294,346,856	
杏雨基金	231,260,435		231,260,435	
資産取得資金	55,745,000		55,745,000	
寄附者指定特定基金	2,462,464,929	2,462,081,042	383,887	
建物	156,375,772	156,375,772		
特定資産小計	24,200,192,992	2,618,456,814	21,581,736,178	(0)
合 計	121,320,369,896	94,442,150,314	26,878,219,582	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物	166,165,775	9,790,003	156,375,772
その他固定資産			
建物	179,460,183	20,597,256	158,862,927
什器備品	322,110,763	51,294,410	270,816,353
ソフトウェア	37,261,980	13,009,945	24,252,035
合 計	704,998,701	94,691,614	610,307,087

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価差損益
基本財産：			
第89回利付国債(5年)	100,012,000	100,080,000	68,000
第93回利付国債(5年)	139,984,793	140,490,000	505,207
第97回利付国債(5年)	100,000,000	100,450,000	450,000
第99回利付国債(5年)	300,382,091	301,620,000	1,237,909
助成基金：			
第89回利付国債(5年)	500,039,590	500,400,000	360,410
第91回利付国債(5年)	200,057,836	200,360,000	302,164
第93回利付国債(5年)	99,989,137	100,350,000	360,863
第97回利付国債(5年)	900,000,000	904,050,000	4,050,000
第518回東京電力社債	99,934,026	100,070,000	135,974
杏雨基金：			
第89回利付国債(5年)	230,011,877	230,184,000	172,123
合 計	2,670,411,350	2,678,054,000	7,642,650

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)	
内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金（目的達成による指定解除額）	1,774,467,080
基本財産受取配当金（減価償却費計上による振替額）	6,183,160
特定資産受取利息（目的達成による指定解除額）	413,536
合 計	1,781,063,776

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

（１）現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている金額との関係は以下の通りである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	66,452,850	現金預金勘定	54,459,299
預入期間が３ヶ月を超える定期預金	-30,000,000	預入期間が３ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	36,452,850	現金及び現金同等物	54,459,299

（２）重要な非資金取引は以下のとおりである。

前 期 末	当 期 末
重要な非資金取引はない。	重要な非資金取引はない。

財 産 目 録

2015年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金			54,459,299
	現金	手元保管	運転資金として	121,213
	普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	〃	14,666,906
	普通預金	三井住友銀行十三支店	〃	39,671,180
	前払金			2,701,350
	前払金	三井住友海上火災保険	海外旅行保険包括契約 前払金	2,701,350
流動資産合計				57,160,649
(固定資産)				
基本財産				97,120,176,904
	現金預金			13,158,044
	普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	13,158,044
	投資有価証券			94,452,323,384
	株式	(武田薬品株15,306,500株)		91,823,693,500
	公益事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	82,255,288,500
	法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	9,568,405,000
	公社債		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	2,628,629,884
	満期保有債券	第89回利付国債(5年)		100,012,000
		第93回利付国債(5年)		139,984,793
		第97回利付国債(5年)		100,000,000
		第99回利付国債(5年)		300,382,091
	その他債券	第131回利付国債(20年)		282,125,000
		第10回利付国債(30年)		102,140,000
		第11回利付国債(30年)		268,152,000
		第143回利付国債(20年)		165,600,000
		第62回利付国債(20年)		104,470,000
		第329回利付国債(10年)		261,175,000
		第327回利付国債(10年)		146,272,000
		第333回利付国債(10年)		251,517,000
		第151回利付国債(20年)		406,800,000
	図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。	2,654,695,476
			(公益認定前取得額合計)	2,041,811,323
		本草関係書類	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 2,488部	409,230,000
		東洋学善本	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 1,337部	570,816,000
		本草・医書・関係書籍	武田薬品工業株 寄贈 16,586部	339,860,500
		医家墨蹟類	武田薬品工業株 寄贈 589点	23,745,000
		医療器具類	武田薬品工業株 寄贈 150点	3,700,000
		武田家文書	武田家 寄贈 2,396部	232,500
		村上文書	武田家 寄贈(書状5,000通含) 909部	8,990,000
		洗心文庫追加	武田家 寄贈 195部	154,935,000
		羽田文庫	武田家 寄贈 758部	62,000,000
		医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫 1333部	8,665,350
		医書関係書籍	1991年度購入 4部	1,313,250
		半井家本医心方	1992年度購入 8部	236,900
		Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入 5部	937,300
		宋版 經史證類備急本草	1997年度購入 5部	203,940
		中薬大辞典	1999年度購入 5部	308,700
		本草図譜	1999年度購入 1部	506,520

図書資料

東洋医学書善本叢書	2000年度購入	20冊	681,345
本草肉摺	2000年度購入	4帙23冊	8,925,000
黄帝内経素問診解他	〃	29冊	873,600
医心方続編	2000年度購入	1冊	488,250
萬金産業袋	2001年度購入	5冊	189,000
中国本草全書	2001～2002年度購入	411冊	8,908,333
金陵本 本草綱目	2002年度購入	7	236,250
「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入	109枚	1,260,000
BOTANICAL CABINET	〃	20冊2000枚	4,725,000
HOOKE'S EXOTIC FLORA	〃	3冊233枚	892,500
THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入	34冊	7,875,000
鴻寶秘要抄	〃	1冊	682,500
続添鴻宝秘要抄抜書	〃	1冊	262,500
江馬榴園書状集	2003年度購入	1冊	357,710
衍義本草	2004年度購入	21冊	9,450,000
医方大成	〃	5冊	2,100,000
医林類証集要	〃	20冊	4,200,000
世医得効方	〃	20冊	4,200,000
植物誌 ^{ナニ} ナニ図書館蔵本 ^{ファミリ} 版	2005年度購入	1冊	1,197,000
補遺雷公炮製便覧	〃	13冊	350,000
東洋医学雑誌復刻彙書	〃	8冊	257,250
常陸文庫	〃	571部	74,970,000
Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
長崎西家由緒書	〃	1冊	252,000
野間玄琢書状	〃	1冊	170,000
奈須玄盅・玄竹書状集	〃	1冊	420,000
帆足万里書状	〃	1冊	252,000
権田直助書状集	〃	1冊	220,000
ヘボン氏手術図以下 126点	2007年度購入	126点	22,050,000
キニホフ植物印影図譜	〃	1冊	4,200,000
本草品彙精要写本	〃	6冊	367,500
松本文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
一神論・序聴迷詩所経	〃	2巻	577,500
曲直瀬道三自筆啓迪集	〃	2冊	7,000,000
森鷗外書簡巻	〃	1通	1,400,000
ベルセリウス：化学教書	〃	6冊	660,000
エウスタキオ画：解剖図表	〃	1冊	450,000
森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
香薬抄	〃	1冊	7,896,000
小関仁一郎書簡巻	〃	1巻	300,000
Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1～3, 1953 Watson JD and Crick FHC他	〃	19冊	15,579,900
二宮文庫	〃	268点	52,500,000
医方考	2010年度4月～11月購入	6冊	4,800,000
意伝鈔	〃	1冊	360,000
ローベル：草木誌	〃	1冊	2,173,500
ラノウ：博物陳列室	〃	1冊	282,555
ショメル：家政事典初版（フランス語）	2010年度4月～11月購入	1冊	724,500
田中彌性園文庫	〃	700点	65,724,750
沢庵宗彭自筆刺針要致	〃	1巻	1,260,000
配済録他	〃	3冊	1,462,960

		医心方提要他	〃	13冊	2,276,960
			(以上、公益認定前取得)		
図書資料			(以下、公益認定後取得)		
			(公益認定後取得額合計)		612,884,153
		方葉順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
		lenne Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
		森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
		石原保秀文庫	2011年(財)日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
		新編俗解八十一難經図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
		解剖学蘭訳初版	〃	1冊	6,500,000
		小曾戸文庫	〃	1802点	261,092,470
		Ontleding des Menschelyken	〃	1冊	1,995,000
		外科学入門	〃	1冊	367,500
		トーマス・バルトリン「解剖学」	〃	1冊	262,500
		師弟問答	〃	1冊	4,500,000
		曲直瀬道三書状	〃	1冊	650,000
		合葉直伝集	〃	1冊	350,000
		岡本玄治書状	〃	1部	157,500
		方肥剂	〃	1冊	340,980
		古医書写本	〃	9冊	560,980
		医学正伝	〃	8冊	945,980
		證類本草序列	〃	1冊	2,250,000
		ショメル：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
		ハトリン：リンネの体系にもとづく自然誌	〃	37冊	2,100,000
		マルチネット：自然の教理問答	〃	4冊	81,900
		ハスター：科学の楽しみ	〃	1冊	441,000
		シュブ・レンゲル：植物学入門	〃	3冊	126,000
		ジャカイン：植物学入門	〃	1冊	79,800
		デ・イオニス：王立植物園での実演による血液循環および新発見に基づく人体の解剖	〃	1冊	56,133
		檜林高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峡山像	〃	4幅対	100,000
		浅田栗園先生母堂栗園宛消息	〃	4通	85,000
		鈴木松塘・菜蘭 浅田栗園宛書簡他	〃	26通	250,000
		長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他	〃	10通	200,000
		名家書簡	〃	46通54紙	2,625,000
		マルティン：哲学教師または現代実験自然学概説	〃	1冊	94,500
		医学正伝	〃	8冊	7,500,000
		奥田・藤平文庫	〃	668点	13,760,460
		古文孝経	〃	1巻	12,055,970
		神農皇帝真伝灸図	〃	1冊	285,990
		校正本 救荒本草・救荒野譜	〃	3冊	395,990
		草之名集 秋之部	〃	1冊	175,990
		新刊 大観本草	〃	20冊	1,759,990
		日本植物図譜	〃	1冊	1,088,990
		察病指南	〃	1冊	285,990
		意伝普救録	〃	1冊	285,990
		節斎漫録	〃	3冊	2,210,990
		大成論抄	〃	1冊	340,990
		禽獸魚介蟲図譜	〃	4冊	1,759,990

図書資料	医家本草家書状	〃	1巻	420,000
	大塚修琴堂文庫	〃	2985点	139,987,890
	中西深斎 尺牘	2013年度購入	1軸	380,000
	曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・宜禁本草	〃	2冊	9,000,000
	素問入式運氣論奥	〃	1冊	3,500,000
	重修政和經史證類備用 本草（巻十五～十七）	〃	1冊	252,000
	吉雄幸作・俊蔵書簡	〃	1巻	420,000
	江馬春齡・蘭斎書簡	〃	1巻	330,000
	ターヘル・アナトミア	〃	1冊	290,200
	日本医史学会文庫	〃	38点	7,980,500
	大阪華岡塾合水堂文庫	〃	319点	42,765,760
	レメリン「小宇宙図 譜」ラテン語&オランダ語 第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
	刈谷藩士本草学者穴戸 昌 自筆文書	〃	12冊	525,000
	伊藤（圭介・延吉・篤 太郎）家伝来文書	〃	9幅	5,450,000
	射駒山観花書画	〃	1巻	270,000
	蘭畹摘芳草稿	〃	1冊	1,700,000
	大阪華岡塾合水堂文庫	〃	12点	20,422,500
	本間玄調肖像	〃	1幅	315,000
特定資産				24,200,192,992
助成基金				21,294,346,856
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	16,212,623	
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	500,000,000	
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	20,778,134,233	
株式	武田薬品(株) 2,605,356株		15,629,530,644	
公社債			5,148,603,589	
満期保有債券	第89回利付国債(5年)		500,039,590	
	第91回利付国債(5年)		200,057,836	
	第93回利付国債(5年)		99,989,137	
	第97回利付国債(5年)		900,000,000	
その他債券	第518回東京電力社債		99,934,026	
	第326回利付国債(10年)		300,788,000	
	第11回利付国債(30年)		167,595,000	
	第137回利付国債(20年)		225,020,000	
	第139回利付国債(20年)		665,580,000	
	第329回利付国債(10年)		313,410,000	
	第141回利付国債(20年)		224,440,000	
	第62回利付国債(20年)		208,940,000	
	第148回利付国債(20年)		430,840,000	
	第149回利付国債(20年)		107,450,000	
	第151回利付国債(20年)		305,100,000	
	第337回利付国債(10年)		248,925,000	
	第338回利付国債(10年)		150,495,000	
杏雨基金				231,260,435
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	1,248,558	
公社債			230,011,877	
満期保有債券	第89回利付国債(5年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	230,011,877	
資産取得資金				55,745,000
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	54,307,000	
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	1,438,000	
寄附者指定特定基金				2,462,464,929

	現金預金 現金預金	公益目的事業会計 法人会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。	1,539,070,746 923,394,183
	建物	公益目的事業会計 新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	156,375,772 156,375,772
その他固定資産				453,981,315
	建物 公益目的事業会計 法人会計	道修町ビル 道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。 公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	158,862,927 23,478,184 135,384,743
	什器備品 公益目的事業会計	(本草医書公開) 自動化書庫装置一式 道修町ビル1F展示室備品 道修町ビル4F 書架 プリンタ1台 両袖机1台	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。 〃 〃 〃 〃	270,816,353 264,994,614 169,580,098 80,585,372 14,356,603 271,425 201,116
	法人会計	(管理費) パソコン3台・サーバー1台 プリンタ1台 複合機1台 財団紹介DVD/上映装置 道修町ビルデジタル交換機、デジタル電話設備 会議室テーブル・OA収納テーブル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。 〃 〃 〃 〃 〃	5,821,739 502,712 252,508 299,250 1,969,581 1,422,940 1,374,748
	ソフトウェア 公益目的事業会計 公益目的事業会計 公益目的事業会計 法人会計	電子申請システム 自動化書庫関連システム 研究助成管理システム 財団紹介コンテンツブラウザ	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。 公益目的保有財産であり、本草医書公開のソフトウェアとして使用している。 公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。 公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	24,252,035 1,522,675 22,027,680 400,680 301,000
	保証金 法人会計	セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	50,000
固定資産合計				121,774,351,211
資産合計				121,831,511,860
(流動負債)				
	未払金 未払金	有限責任監査法人トーマツ 常勤役員に対するもの 職員に対するもの	2014年度 監査費用未払分 2015年3月分 給与未払分 2015年3月分 給与未払分	6,310,510 1,620,000 1,564,000 3,126,510
	未払費用 未払費用	常勤役員・職員に対するもの	2015年3月分給与・期末賞与 福利厚生費未払分	897,801 897,801
	預り金 預り金		住民税の預り金 2015年 2月分給与・期末賞与等所得税 預り金 2014年度 給与・期末特別賞与 社会保険預り金	2,651,147 1,348,800 843,709 458,638
流動負債合計				9,859,458
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金 退職給付引当金	役員に対するもの 職員に対するもの	常勤理事2名に対する退職慰労金の支払に備えたもの 入団後2年超の職員5名に対する退職金の支払に備えたもの	9,010,550 3,263,000
固定負債合計				12,273,550
負債合計				22,133,008
正味財産				121,809,378,852

独立監査人の監査報告書

平成 27 年 4 月 20 日

公益財団法人 武田科学振興財団

理 事 会 御中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員 公認会計士 吉 村 祥 二 郎 ㊞
業 務 執 行 社 員

<財務諸表監査>

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの 2014 年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の平成 27 年 3 月 31 日現在の 2014 年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

当監査法人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人武田科学振興財団と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監 査 報 告 書

平成 27 年 5 月 8 日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 横 山 巖 殿

監 事 中 山 俊 治 

監 事 夏 住 要 一 郎 

私たち監事は、当財団の平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの平成 26 年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項（同法第 197 条において準用する第 99 条第 1 項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 33 条第 2 項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上